

対象校No.

注4

学校コード F128310108801

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

神戸常盤大学 保健科学部 口腔保健学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人玉田学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 法人本部運営管理課

職名・氏名 課員・岡本 貴秀

電話番号 078-611-1838

(夜間) 078-611-1838

e-mail uneikanri@kobe-tokiwa.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

保健科学部

<口腔保健学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人玉田学園

(2) 大学名

神戸常盤大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒653-0838

兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アサヒ ジロウ) 旭 次郎 (昭和61年4月)	(ナカムラ タダシ) 中村 忠司 (令和5年4月)	退職による。 令和5年4月1日(5)
学 長	(ハマダ ミチオ) 濱田 道夫 (平成29年4月)		
学 部 長	(シオタニ ヒデユキ) 塩谷 英之 (令和3年4月)		
学科長等	(ヨシダ ユキエ) 吉田 幸恵 (令和4年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してく

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの5年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必要な場合に、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健科学部 口腔保健学科 学士 (口腔保健学)	文学関係 文学関係 法学関係 経済学関係 保健衛生学関係 (看護学関係及び保健)	4年	70人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	280人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を() 書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人	人	人	人	70人	人	70人	人	70人	人	70人	人		0.97倍	-	
志願者数	()	()	()	()	90	()	99	()	86	()	118	()				
受験者数	()	()	()	()	89	()	95	()	80	()	104	()				
合格者数	()	()	()	()	83	()	90	()	80	()	98	()				
B 入学者数	()	()	()	()	67	()	67	()	71	()	76	()				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	0.95	-	0.95	-	1.01	-	1.08	-				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・() 内には、**編入学の状況について内数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出の当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項より修業年限超過者を控除した場合及び別則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」JAC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備考
	春季入学	その他の学期											
1年次	()	()	()	()	67	()	67	()	72	()	77	()	
2年次			()	()	()	()	66	()	65	()	71	()	
3年次					()	()	()	()	66	()	61	()	
4年次							()	()	()	()	65	()	
計	()	()	()	()	67	()	133	()	203	()	274	()	

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・[]内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・()内には、**留年者の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・編入生や転入生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	67 人	1 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	1 人	0 人	進路変更(1名)
令和5年度	133 人	2 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	2 人	0 人	学習意欲の低下(2名)
令和6年度	203 人	5 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	1 人	0 人	進路変更(就職)(1名)
			令和5年度	3 人	0 人	学習意欲の低下(2名)心神耗弱(1名)
			令和6年度	1 人	0 人	心神耗弱(1名)
令和7年度	274 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合計		8 人		8 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「学習意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・学習意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{68} = \boxed{1.47} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{2}{135} = \boxed{1.48} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{5}{208} = \boxed{2.4} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{274} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健科学部 口腔保健学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学びの始め	まなぶる▶ときわび	1前	1				1	1			25	学びの始め	まなぶる▶ときわび	1前	2			0	1	0	2		22		
	まなぶる▶ときわび	1後	1				1	1			16		まなぶる▶ときわび	1後	1				1	0	1		18		
	まなぶる▶ときわび	2前	1					1	1		25		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 超ときわびと	大学道場miniゼミA	1前		1		2	1				11	
	大学道場miniゼミA	1前		1							17			大学道場miniゼミB	1後		1		2	1				10	
	大学道場miniゼミB	1後		1							12			超ときわびと	1後		1								2
	超ときわびと	1後		1							2			小計(6科目)	-	3	3	0	0	0	1	1	0		51
人間探求科目群	情報基礎	1前	1								1	人間探求科目群	情報基礎	1前	1									8	
	情報メディア演習	1後	1								1		情報メディア演習	1後	1									7	
	健康スポーツ科学	1前	1								3		健康スポーツ科学	1前	1			1						4	
	健康スポーツ科学	1前		1							2		健康スポーツ科学	1前		1									2
	健康スポーツ科学	1後		1							2		健康スポーツ科学	1後		1									2
	アカデミックライティ	1後	1								3		アカデミックライティ	1後	1										3
	コミュニケーション論	1前	1								1		コミュニケーション論	1前	1										1
	英語コミュニケーション	1前	1								1		英語コミュニケーション	1前	1										1
	英語コミュニケーション	1後	1								1		英語コミュニケーション	1後	1										1
	英語A(Communicative English)	1-2-4B		1							2		英語A(Communicative English)	1前		1									2
	英語Ab(Communicative English)	1-2-4B		1							2		英語Ab(Communicative English)	1後		1									2
	英語B(Presentation)	2-3-4B		1							1		英語B(Presentation)	2前		1									1
	英語C(Cultural Studies)	2-3-4B		1							1		英語C(Cultural Studies)	2後		1									1
	英語D(Academic English)	3-4B		1							1		英語D(Academic English)	3前		1									1
	多文化コミュニケーション	1後		1							1		多文化コミュニケーション	1後		1									1
	手話コミュニケーション	1-2-3-4B		1							1		手話コミュニケーション	1前		1									1
	いのちと共生	1後		1							7		いのちと共生	1後		1				1					7
	人類と地球環境	1前		1							1		人類と地球環境	1前		1									1
	暮らしの中の数学	1-2-3-4B		1							1		暮らしの中の数学	1前		1									1
	統計学	1-2-3-4B		1							2		基礎統計学	1前	1										1
	暮らしの中の物理学	1-2-3-4B			1						1		暮らしの中の物理学	1前			1								1
	現代社会と化学	1-2-3-4B		1							1		現代社会と化学	1前		1									1
	人体のふしぎ	1-2-3-4B		1							6		人体のふしぎ	1前		1		1							6
	現代社会と生命科学	1-2-3-4B		1							1		現代社会と生命科学	1前		1									1
	安全学	1-2-3-4B		1						1	6		安全学	1前		1									6
	人類と農学	1-2-3-4B		1							1		人類と農学	1前		1									1
	プログラミング入門	1-2-3-4B		1							1		プログラミング入門	1後		1									1
	日本国憲法	1-2-3-4B		1							1		日本国憲法	1前		1									1
	哲学	1-2-3-4B		1							1		哲学と倫理	1前		1									1
	生命と倫理	1-2-3-4B	2								2		生命と倫理	1前	1										1
	芸術文化論	1-2-3-4B		1							3		芸術文化論	1前		1									1
	文学	1-2-3-4B		1							1		文学	1前		1									1
	日本通史	1-2-3-4B		1							1		日本通史	1前		1									1
	世界の時事	1-2-3-4B		1							1		国際社会論	1後		1									2
	現代社会学	1-2-3-4B		1						1	1		現代社会学	1前		1									1
	経済学	1-2-3-4B		1							1		政治学	1後		1									0
	心理臨床学	1-2-3-4B		2							1		経済学	1前		1									1
	人間関係論	1-2-3-4B		1							1		組織マネジメント論	1後		1									1
	教育と人間	1-2-3-4B		1						1	3		心理臨床学	1後		1									1
小計(39科目)	-	10	31	1	0	0	0	0	1	0	50	人間関係論	1前	1									1		
教育と人間	1-2-3-4B		1						1	3	教育と人間	1前		1									3		
災害とまちづくり	1-2-3-4B		1							1	災害とまちづくり	1前		1									2		
国際理解	1-2-3-4B		1							1	国際理解	1前		1			1		1				10		
科学技術論	1-2-3-4B		1							1	科学技術論	1後		1									5		
小計(44科目)	-	10	33	1	1	0	1	1	1	0	59	小計(44科目)	-	10	33	1	1	0	1	1	1	0	59		
創造実践科目群	地域との協働A	1-2-3-4B		1							3	創造実践科目群	地域との協働A	1通		1								2	
	地域との協働B	1-2-3-4B		1							2		地域との協働B	2通		1			1					3	
	災害とまちづくり	1-2-3-4B		1					1		1		災害とまちづくり	1-2-3-4B		1								1	
	コミュニティデザイン	1-2-3-4B		1					1		4		コミュニティデザイン	2後		1								2	
	ライフデザイン	1-2-3-4B		1					1		4		プロジェクトデザイン	2通		1								0	
小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	1	1	0	10	超ときわびと	2通		1									0		
臨床	全身の健康と口腔科学	1後	1			2						臨床	全身の健康と口腔科学	1後	1			2							
	人体の構造と機能	1前	4		1						人体の構造と機能		1前	4			2								
	口腔の構造と機能	2前	4								口腔の構造と機能		2前	4			3							0	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学 科 目 の 群 始 め	まなぶる>ときわび	1前	2			1	1	1			20
	まなぶる&ときわび	1後	1				1	1			18
	大学道場miniゼミA	1前		1		1	1				13
	大学道場miniゼミB	1後		1		1	1				11
小計(4科目)	-	3	2	0	2	1	2	1			45
人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	1				1	1			4
	情報メディア演習	1後	1				1	1			3
	健康スポーツ科学	1前	1		2						3
	健康スポーツ科学	1前		1							2
	健康スポーツ科学	1後		1							2
	アカデミックライティ	1後	1								3
	コミュニケーション論	1前	1								1
	英語コミュニケーション	1前	1								1
	英語コミュニケーション	1後	1								1
	英語A(Communicative English I)	1前		1							1
	英語A(Communicative English I)	1後		1							2
	英語Ac(Communicative English I)	3前		1							1
	英語B(Presentation)	2前		1							2
	英語C(Current Issue)	2後		1							1
	手話コミュニケーション	1前		1							1
	多文化コミュニケーション	1後		1							1
	いのちと共生	1後		1		1					7
	人類と地球環境	1前		1							1
	暮らしの中の数学	1前		1							1
	基礎統計学	1前	1								1
	暮らしの中の物理学	1前		1							1
	現代社会と化学	1前		1							1
	人体のふしぎ	1前		1		1					5
	現代社会と生命科学	1前		1							1
	安全学	1前		1						1	5
	人類と農学	1前		1							1
	プログラミング入門	1後		1							1
	日本国憲法	1前		1							1
	哲学と倫理	1前		1							1
	生命と倫理	1前	1								1
	芸術文化論	1前		1							1
	文学	1前		1							1
	日本通史	1前		1							1
	国際社会論	1後		1							2
	現代社会学	1前		1						1	
	政治学	1後		1							0
	経済学	1前		1							1
	組織マネジメント論	1後		1							1
	心理臨床学	1後		1							1
	人間関係論	1前	1								1
	教育と人間	1前		1					1		2
	災害とまちづくり	1前		1				1			1
	国際理解	1前		1			1	2			7
	科学技術論	1後		1							5
小計(44科目)	-	10	33	1	3	1	3	1	0		53
科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
創 造 実 践 科 目 群	地域との協働A	1通		1					1		2
	地域との協働B	2通		1							0
	コミュニティデザイン	2後		1				1			2
	プロジェクトデザイン	2通		1				1			1
	超ときわびと	2通		1							0
小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	1	1	0		9
専 門 科 目 群	全身の健康と口腔科学	1後	1			1					
	人体の構造と機能	1前	4			2					0
	口腔の構造と機能	2前	4			0					0
	生化学・栄養学	1後	2			1			0		
	病理学	2前	2			0					0
	薬理学	2前	2			0					0
	微生物学・免疫学	1後	2			2				0	
遺伝子と再生医療	4前		1							0	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学 科 目 の 群 始 め	まなぶる&ときわび	1前	2				1	3			22
	まなぶる&ときわび	1後	1				1	3			18
	大学道場miniゼミA	1前		1		2	1				10
	大学道場miniゼミB	1後		1		2	1				11
小計(4科目)	-	3	2	0	2	1	1	3			41
人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	1				1				2
	情報メディア演習	1後	1				1				2
	健康スポーツ科学	1前	1		2						3
	健康スポーツ科学	1前		1							2
	健康スポーツ科学	1後		1							2
	アカデミックライティ	1後	1								3
	コミュニケーション論	1前	1								1
	英語コミュニケーション	1前	1								1
	英語コミュニケーション	1後	1								1
	英語A(Communicative English I)	1前		1							2
	英語A(Communicative English I)	1後		1							2
	英語Ac(Communicative English I)	3前		1							1
	英語B(Presentation)	2前		1							1
	英語C(Current Issue)	2後		1							1
	手話コミュニケーション	1前		1							1
	多文化コミュニケーション	1後		1							1
	いのちと共生	1後		1		1					6
	人類と地球環境	1前		1							1
	暮らしの中の数学	1前		1							1
	基礎統計学	1前	1								1
	暮らしの中の物理学	1前		1							1
	現代社会と化学	1前		1							1
	人体のふしぎ	1前		1		1					5
	現代社会と生命科学	1前		1							1
	安全学	1前		1						1	5
	人類と農学	1前		1							1
	プログラミング入門	1後		1							1
	日本国憲法	1前		1							1
	哲学と倫理	1前		1							1
	生命と倫理	1前	1								1
	芸術文化論	1前		1							1
	文学	1前		1							1
	日本通史	1前		1							1
	国際社会論	1後		1							2
	現代社会学	1前		1						1	
	政治学	1後		1							0
	経済学	1前		1							1
	組織マネジメント論	1後		1							1
	心理臨床学	1後		1							1
	人間関係論	1前	1								1
	教育と人間	1前		1					1		2
	災害とまちづくり	1前		1					1		1
	国際理解	1前		1			1	2			9
	科学技術論	1後		1							3
小計(44科目)	-	10	33	1	3	1	2	2	0		52
科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
創 造 実 践 科 目 群	地域との協働A	1通		1					1		3
	地域との協働B	2通		1				1			3
	コミュニティデザイン	2後		1				1			2
	プロジェクトデザイン	2通		1				1			1
	超ときわびと	2通		1							0
小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	1	1	0		9
専 門 科 目 群	全身の健康と口腔科学	1後	1			2					
	人体の構造と機能	1前	4			1					0
	口腔の構造と機能	2前	4			1					0
	生化学・栄養学	1後	2			1			1		
	病理学	2前	2			1					
	薬理学	2前	2			1					0
	微生物学・免疫学	1後	2			1			1		
遺伝子と再生医療	4前		1							1	

基礎分野	パブリックオーラルヘルス	小計(8科目)	—	17	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		医療英語Ⅰ	2前	1							1								
		医療英語Ⅱ	2後	1			2												
		公衆衛生学	2前	2			1											0	
		口腔衛生学	1前	2			0			1	0								
		歯科医療と法律制度	4前	1			0											0	
		歯学・オーソドンティクス (歯医系特許)	4前	1														0	
		歯科医療と経済	4前	1														0	
		社会福祉概論	2後	1						0									
		ボランティア論	2後	1							1								
防災教育と災害援助	3前	1																	
小計(10科目)	—	8	4	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
専門分野	士 歯科衛生士	歯科衛生士論Ⅰ	1前	1			2											1	
		歯科衛生士論Ⅱ	2前	1			1			1	0								
		小計(2科目)	—	2			2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	歯科医療の実践	歯科診療補助論	1前	1			1	0				1							
		医療安全	2後	1					1										
		歯科臨床検査総論	2後	1					1									2	
		歯科理工学	1後	1			1												
		歯科理工学演習	1後	1			0					2							
		歯科診療の補助演習	1後	1			1	1	2	0									
		歯科保存学	2前	2			2												
歯科補綴学		2前	1			1													
口腔外科学・歯科麻酔学		2前	2			1													
歯科矯正学		2後	1			1			1										
機能再建系歯科診療補助演習	2後	1			3		2	1											
成育系歯科診療補助演習	3前	1			2		2	1											
小計(12科目)	—	14	0	0	5	1	3	1	0	2									
口腔疾患予防	歯科予防処置論	1後			1	1	0	1											
	歯科予防処置演習Ⅰ	1後			1	0	0	1	2										
	歯科予防処置演習Ⅱ	2前			1	1	0	1	2										
	歯科予防処置演習Ⅲ	2前			1	1	0	1	1										
	歯周疾患処置演習Ⅰ	2後			1	1	0	1	1										
	歯周疾患処置演習Ⅱ	3前			2	2	0	1	1										
	オーラルヘルスマネジメント	3後			1														
小計(7科目)	8	0	0	2	1	1	2	2	0	2									
科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任								
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	手	兼	担						
専門分野	ヒューマンオーラルヘルス	スタンダードサポート	口腔健康支援総論	1前	1			1											
			口腔健康支援各論	1後	2			1											
			口腔衛生管理演習	2前	1			1		1	1								
			ライフステージ別口腔健康支援演習	2後	1			1		1	0								
			医療面接	2後	1			1		1									
			健康教育法	3後	1			1		1	0								
			栄養指導	2前	1			1			1								
	小計(7科目)	—	8	0	0	3	0	3	2	0	0								
	ヒューマンオーラルヘルス	デイクヤップサポート	高齢者歯科学	3後	1			1										1	
			障害者歯科学	3後	1			1										1	
オーラルリハビリテーション論			3前	1			1		2										
IPW(多職種連携)論			3後	1			2	1									3		
IPW(多職種連携)演習			4前	1			0	0	0	0									
オーラルリハビリテーション演習			3後	1			1		2										
小計(6科目)			—	6	0	0	2	1	2	0	0	5							
ヒューマンオーラルヘルス	キッズサポート	子どもの歯科学	2後	2			1		1										
		子ども学	2後	2					1	1							1		
		子どもの心理学	2後	1					1								1		
		子どもの食と栄養	2後	1			2		1	0									
		小計(4科目)	—	6	0	0	3	0	3	1	0	2							
		専門分野	臨床実習	早期臨床実習	1前	1			8	1	5	2							
				基礎臨床実習	2後	2			7	1	5	3							
応用臨床実習	3前			8			7	1	5	2									
発展臨床実習	3後			8			7	1	5	2									
健康教育の実践	4前			1					0	0									
小計(5科目)	—			20	0	0	8	1	5	3	0	0							
専門分野	歯科衛生士のキャリアデザイン	学びの基礎	1前	1			1	0	2	0									
		ワークキャリアプランニング	2後	1			1		1										
		インターンシップ実習	3前	1			1		2	0									
		キャリアパスⅠ	3前	1					2	1							0		
		キャリアパスⅡ	3前	1			1			1									
		小計(6科目)	—	6	0	0	3	0	3	1	0	2							

基礎分野	パブリックオーラルヘルス	小計(8科目)	—	17	1	0	4	0	0	1	0	0	1	0	1	
		医療英語Ⅰ	2前	1							1					
		医療英語Ⅱ	2後	1			2									
		公衆衛生学	2前	2			1									0
		口腔衛生学	1前	2			0			1						
		歯科医療と法律制度	4前	1			2									1
		歯学・オーソドンティクス (歯医系特許)	4前	1												2
		歯科医療と経済	4前	1												1
		社会福祉概論	2後	1						1						
		ボランティア論	2後	1							1					
防災教育と災害援助	3前	1								1				2		
小計(10科目)	—	8	4	0	2	0	2	0	2	1	0	0	1	6		
専門分野	士 歯科衛生士	歯科衛生士論Ⅰ	1前	1			2									1
		歯科衛生士論Ⅱ	2前	1			1							1		
		小計(2科目)	—	2			2	0	0	0	1	0	0	1	0	1
	歯科医療の実践	歯科診療補助論	1前	1			1	1								
		医療安全	2後	1					1							
		歯科臨床検査総論	2後	1					1							2
		歯科理工学	1後	1			1									
		歯科理工学演習	1後	1			0					2				
		歯科診療の補助演習	1後	1			1	1	2	0						
		歯科保存学	2前	2			2									
歯科補綴学		2前	1			1										
口腔外科学・歯科麻酔学		2前	2			1										
歯科矯正学		2後	1			1			1							
機能再建系歯科診療補助演習	2後	1			3		2	1								
成育系歯科診療補助演習	3前	1			2		2	1								
小計(12科目)	—	14	0	0	4	1	2	2	2	0	2			2		
口腔疾患予防	歯科予防処置論	1後			1	1	0	1								
	歯科予防処置演習Ⅰ	1後			1	0	0	1	2							
	歯科予防処置演習Ⅱ	2前			1	1	0	1	2							
	歯科予防処置演習Ⅲ	2前			1	1	0	1	1							
	歯周疾患処置演習Ⅰ	2後			1	1	0	1	1							
	歯周疾患処置演習Ⅱ	3前			2	2	0	1	1							
	オーラルヘルスマネジメント	3後			1											
小計(7科目)	8	0	0	2	1	1	2	2	0	2				2		
科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任					
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	手	兼	担			
専門分野	ヒューマンオーラルヘルス	スタンダードサポート	口腔健康支援総論	1前	1			1								
			口腔健康支援各論	1後	2			1								
			口腔衛生管理演習	2前	1			1		1	1					
			ライフステージ別口腔健康支援演習	2後	1			1		1	0					
			医療面接	2後	1			1		1						
			健康教育法	3後	1			1		1	1					
			栄養指導	2前	1			1			1					
	小計(7科目)	—	8	0	0	3	0	2	2	2	0					

オン ク キ ャ	キャリアパスⅢ	3後	1	0	1	0							
	キャリアパスⅣ	3後	1	0	1	0							
	小計(7科目)	—	2	5	0	3	0	4	2	0	0		
臨床系 プロフェッショナル オーラルヘルス	歯科医療管理実習	4前	1			0	0						
	口腔健康実習Ⅰ(小児)	4前	1				0	0					
	口腔健康実習Ⅱ(高齢者)	4前	1			0	0						
	口腔健康実習Ⅲ(障がい者)	4前	1				0	0					
	審美・矯正歯科実習	4前	1			0	0						
	歯周病管理実習	4前	1			0	0						
	地域口腔保健支援実習	4前	1			0	0						
	災害時の歯科衛生士の働き	4前	1			0	0						
	コミュニケーションングラッシュ	3前	1									1	
	国際保健医療活動Ⅰ	3前	1			1							5
	国際保健医療活動Ⅱ	3前	1			1	1	0					2
	口腔保健特論Ⅰ	4前	1			0	0	0					
	口腔保健特論Ⅱ	4後	2			0	0	0					
口腔保健特論Ⅲ	4後	2			0	0	0						
研究方法論	3後	2			8	1	5						
卒業研究Ⅰ	4前	1			0	0	0						
卒業研究Ⅱ	4後	1			0	0							
小計(17科目)	—	6	14	0	8	1	5	0	0	0	6		
合計(138科目)		—	105	66	1	8	1	5	5	0	88		
卒業要件及び履修方法													
必修科目105単位、「子ども学」、「子どもの心理学」、「子どもの食と栄養」から1単位以上、 選択科目18単位以上 合計124単位以上修得しなければならない。													

オン ク キ ャ	キャリアパスⅢ	3後	1	1									
	キャリアパスⅣ	3後	1	1									
	小計(7科目)	—	2	5	0	5	0	3		5	0	1	
臨床系 プロフェッショナル オーラルヘルス	歯科医療管理実習	4前	1			1	1						
	口腔健康実習Ⅰ(小児)	4前	1				1	1					
	口腔健康実習Ⅱ(高齢者)	4前	1				1	1					
	口腔健康実習Ⅲ(障がい者)	4前	1					1	1				
	審美・矯正歯科実習	4前	1				1						
	歯周病管理実習	4前	1				1						
	地域口腔保健支援実習	4前	1				1						
	災害時の歯科衛生士の働き	4前	1					3	1		3		
	コミュニケーションングラッシュ	3前	1									1	
	国際保健医療活動Ⅰ	3前	1									4	
	国際保健医療活動Ⅱ	3前	1				1	1	1			4	
	口腔保健特論Ⅰ	4前	1				2		1				
	口腔保健特論Ⅱ	4後	2				3	1	4				
口腔保健特論Ⅲ	4後	2				2		1					
研究方法論	3後	2				6	1	5					
卒業研究Ⅰ	4前	1				6	1	5					
卒業研究Ⅱ	4後	1				6	1						
小計(17科目)	—	6	14	0	6	1	5	3	0	6			
合計(138科目)		—	105	66	1	7	1	5	5	0	88		
卒業要件及び履修方法													
必修科目105単位、「子ども学」、「子どもの心理学」、「子どもの食と栄養」から1単位以上、 選択科目18単位以上 合計124単位以上修得しなければならない。													

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学 科 目 の 群 始 め	まなふるどときわひ	1前	2				1	3			22
	まなふるどときわひ	1後	1				1	3			18
	大学道場miniゼミA	1前			2	1					10
	大学道場miniゼミB	1後			2	1					11
	小計(4科目)	—	3	2	0	5	1	1	3		54
人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	1					1			2
	情報メディア演習	1後	1					1			2
	健康スポーツ科学	1前	1		2			1			3
	健康スポーツ科学	1前	1								2
	健康スポーツ科学	1後	1								2
	アカデミックライティ	1後	1								3
	コミュニケーション論	1前	1								1
	英語コミュニケーション	1前	1								1
	英語コミュニケーション	1後	1								1
	英語A(Communicative English)	1前	1								2
	英語Ab(Communicative English)	1後	1								2
	英語Ac(Communicative English)	3前	1								1
	英語B(Presentation)	2前	1								1
	英語C(Current Issue)	2後	1								1
	手話コミュニケーション	1前	1								1
	多文化コミュニケーション	1後	1								1
	いのちと共生	1後	1				1				6
	人類と地球環境	1前	1								1
	暮らしの中の数学	1前	1								1
	基礎統計学	1前	1								1
	暮らしの中の物理学	1前	1		1						1
	現代社会と化学	1前	1								1
	人体のふしぎ	1前	1			1					5
	現代社会と生命科学	1前	1								1
	安全学	1前	1						1		6
	人類と農学	1前	1								1
	プログラミング入門	1後	1								1
	日本国憲法	1前	1								1
	哲学と倫理	1前	1								1
	生命と倫理	1前	1								1
	芸術文化論	1前	1								1
	文学	1前	1								1
	日本通史	1前	1								1
国際社会論	1後	1								2	
現代社会学	1前	1						1			
政治学	1後	1								1	
経済学	1前	1								1	
組織マネジメント論	1後	1								1	
心理臨床学	1後	1								1	
人間関係論	1前	1								1	
教育と人間	1前	1						1		2	
災害とまちづくり	1前	1						1		1	
国際理解	1前	1						1	2	9	
科学技術論	1後	1								3	
	小計(44科目)	—	10	33	1	3	0	1	2	0	57
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
創 造 実 践 科 目	地域との協働A	1通		1						1	3
	地域との協働B	2通		1					1		3
	コミュニティデザイン	2後		1					1		2
	プロジェクトデザイン	2通		1					1		1

一 群	超ときわびと		2通										1	
	小計(5科目)		0	5	0	0	1	1	0	0	0	0	8	
専 門 基 礎 分 野	臨床 歯 科 医 学 の 基 礎	全身の健康と口腔科学	1後	1			2							
		人体の構造と機能	1前	4			1							
		口腔の構造と機能	2前	4			1						0	
		生化学・栄養学	1後	2			1			1				
		病理学	2前	2			1							
		薬理学	2前	2			1						0	
		微生物学・免疫学	1後	2			1			1				
		遺伝子と再生医療	4前	1									1	
		小計(12科目)	—	17	1	0	3	0	0	1	0	0	3	
		パ ブ リ ッ ク オ ー ラ ル ヘ ル ス	医療英語Ⅰ	2前	1					1				
			医療英語Ⅱ	2後	1			2						
			公衆衛生学	2前	2			1						0
口腔衛生学	1前		2			1			1					
歯科医療と法律制度	4前		1			2						1		
歯科医療と経済	4前		1									2		
歯科医療と経済	4前		1									1		
社会福祉概論	2後		1					1						
ボランティア論	2後		1					1						
防災教育と災害援助	3前		1					1				2		
小計(10科目)	—		8	4	0	2	0	2	1	0	0	7		
専 門 分 野	士 歯 科 理 衛 生		歯科衛生士論Ⅰ	1前	1			2					1	
		歯科衛生士論Ⅱ	2前	1			1			1				
		小計(2科目)	—	2			2	0	0	1	0	1		
	歯 科 医 療 の 実 践	歯科診療補助論	1前	1			1	1						
		医療安全	2後	1				1						
		歯科臨床検査総論	2後	1				1					2	
		歯科理工学	1後	1			1							
		歯科理工学演習	1後	1			1			2				
		歯科診療の補助演習	1後	1			0	1	2	0				
		歯科保存学	2前	2			1							
		歯科補綴学	2前	1			1							
		口腔外科学・歯科麻酔学	2前	2			1							
歯科矯正学		2後	1			1		1						
機能再建系歯科診療補助演習		2後	1			2		2	1					
成育系歯科診療補助演習		3前	1			1		2	1					
小計(12科目)	—	14	0	0	3	1	2	2	0	0	2			
口 腔 疾 患 予 防	歯科予防処置論	1後			1	1	0	1						
	歯科予防処置演習Ⅰ	1後				0	1	2						
	歯科予防処置演習Ⅱ	2前			1	1	0	1	2					
	歯科予防処置演習Ⅲ	2前			1	1	0	1	1					
	歯周疾患処置演習Ⅰ	2後			1	1	0	1	1					
	歯周疾患処置演習Ⅱ	3前			2		1	1						
	オーラルヘルスマネジメント	3後			1									
	小計(7科目)	—	8	0	0	2	0	1	2	0	0	2		
科 目 区 分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数					専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
ヒ ュ ー マ ン オ ー ラ ル ヘ ル ス	ス タ ン ダ ー ド サ ポ ー ト	口腔健康支援総論	1前	1			1							
		口腔健康支援各論	1後	2			1							
		口腔衛生管理演習	2前	1			1		1	1				
		ライフステージ別口腔健康支援演習	2後	1			1		1	1				
		医療面接	2後	1			1		1					
		健康教育法	3後	1			1		1	1				
		栄養指導	2前	1			1			1				
	小計(7科目)	—	8	0	0	3	0	2	2	0	0			
	デ ィ キ ャ ッ プ サ ポ ー ト	高齢者歯科学	3後	1			1						1	
		障害者歯科学	3後	1			1						1	
		オーラルリハビリテーション論	3前	1			1		2					
		IPW(多職種連携)論	3後	1			2	1					2	
IPW(多職種連携)演習		4前	1			1	1	1	1					
オーラルリハビリテーション演習		3後	1			1		2						
小計(6科目)	—	6	0	0	2	1	2	1	0	0	4			
キ ッズ サ ポ ー ト	子どもの歯科学	2後	2			1		1						
	子ども学	2後	2					1	1			1		
	子どもの心理学	2後	1					1				1		
	子どもの食と栄養	2後	1			2			1					
小計(4科目)	—	6	0	0	3	0	2	2	0	0	2			
	早期臨地実習	1前	1			7	1	4	4					

専 門	臨地実習	基礎臨地実習	2後	2			5	1	4	4					
		応用臨地実習	3前	8			4	1	4	4					
		発展臨地実習	3後	8			5	1	4	4					
		健康教育の実践	4前	1					1	1					
	小計(5科目)	—	20	0	0	5	1	4	4	0	0				
分 野	歯科衛生士のワークデザイン	学びの基礎	1前	1			2	0	1	1					
		ワークキャリアプランニング	2後	1			1		1						
		インターンシップ実習	3前		1					1	2				
		キャリアパスⅠ	3前		1					1	1			1	
		キャリアパスⅡ	3前		1		1				1				
		キャリアパスⅢ	3後		1		1				1				
		キャリアパスⅣ	3後		1		1				1				
		小計(7科目)	—	2	5	0	6	1	5	5	0	1			
臨床系	プロフェッショナルヘルス総合・発展系	歯科医療管理実習	4前		1			1	1						
		口腔健康実習Ⅰ(小児)	4前		1				1	1					
		口腔健康実習Ⅱ(高齢者)	4前		1		1			1					
		口腔健康実習Ⅲ(障がい者)	4前		1				1	1					
		審美・矯正歯科実習	4前		1		1				1				
		歯周病管理実習	4前		1		1				1				
		地域口腔保健支援実習	4前		1		1				1				
		災害時の歯科衛生士の働き	4前	1			3		1	3					
		コミュニケーションワークショップ	3前		1										1
		国際保健医療活動Ⅰ	3前		1										4
国際保健医療活動Ⅱ	3前		1		1			1	1				4		
口腔保健特論Ⅰ	4前		1		2				1						
口腔保健特論Ⅱ	4後		2		3	1	4								
口腔保健特論Ⅲ	4後	2			2		1								
研究方法論	3後	2			6	1	5								
卒業研究Ⅰ	4前	1			6	1	5								
卒業研究Ⅱ	4後		1		6	1									
	小計(17科目)	—	6	14	0	6	1	5	3	0	6				
合計(142科目)		—	105	66	1	6	1	5	5	0	104				
卒業要件及び履修方法															
必修科目105単位、「子ども学」、「子どもの心理学」、「子どもの食と栄養」から1単位以上、選択科目18単位以上 合計124単位以上修得しなければならない。															

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- 専任教員等の配置変更について
- ◎「まなぶる」ときわびとⅠ」を【講師1・助教1】から【講師1・助教3】に変更。併せて兼任・兼任を【兼25】を【兼22】に変更。
- ◎「まなぶる」ときわびとⅡ」を【講師1・助教1】から【講師1・助教3】に変更。併せて兼任・兼任を【兼16】を【兼18】に変更。
- ◎「大学道場miniゼミA」に【教授3】を新規追加。
- ◎「大学道場miniゼミB」に【教授2・准教授1】を新規追加。併せて兼任・兼任を【兼12】を【兼13】に変更。
- ◎「情報基礎」に【講師1・助教1】を新規追加。併せて兼任・兼任を【兼1】を【兼5】に変更。
- ◎「情報メディア演習」に【講師1・助教1】を新規追加。併せて兼任・兼任を【兼1】を【兼4】に変更。
- ◎「健康スポーツ科学Ⅰ」に【教授2】を新規追加。
- ◎「人体のふしぎ」に【教授2】を新規追加。併せて兼任・兼任を【兼1】を【兼5】に変更。
- 科目の変更について
- ◎「まなぶる」ときわびとⅢ」を削除。
- ◎「英語Ac (Communicative English Advanced)」を新規追加。
- ◎「英語B (Presentation)」を「英語B (Presentation Skills)」に変更。
- ◎「英語C (Cultural Studies)」を「英語C (Current Issues)」に変更。
- ◎「英語D (Academic English)」を廃止。
- ◎「統計学」を「基礎統計学」を名称変更。
- ◎「哲学」を「哲学と倫理」に名称変更。
- ◎「世界の時事」を「国際社会論」に名称変更。
- ◎「政治学」を新設。科目担当者は、
- ◎「組織マネジメント論」を新設。
- ◎「国際理解」を新設。
- ◎「科学技術論」を新設。
- 配当年次の変更
- ◎「コミュニケーション論」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「英語Aa (Communicative English Basic)」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「英語Ab (Communicative English Intermediate)」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「手話コミュニケーション」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「暮らしの中の数学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「基礎統計学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「暮らしの中の物理学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「現代社会と化学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「人体のふしぎ」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「現代社会と生命科学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「安全学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「人類と農学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「プログラミング入門」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「日本国憲法」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「哲学と倫理」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「生命と倫理」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「芸術文化論」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「文学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「日本通史」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「国際社会論」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「現代社会学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「経済学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「心理臨床学」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「人間関係論」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「教育と人間」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「災害とまちづくり」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「地域との協働A」【1・2・3・4通】を【1通】に変更。
- ◎「地域との協働B」【1・2・3・4通】を【2通】に変更。
- ◎「コミュニティデザイン」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「プロジェクトデザイン」【1・2・3・4後】を【2通】に変更。
- ◎「超ときわびと」【1後】を【2通】に変更。
- 科目区分変更
- ◎「超ときわびと」を【学びの始め科目群】から【創造実践科目群】に変更。
- ◎「災害とまちづくり」を【創造実践科目群】から【人間探求科目群】に変更。

【令和5年度】

- 専任教員等の配置変更について
- ◎「大学道場miniゼミA」に【教授2・准教授1】を新規追加。併せて兼任・兼任【兼17】を【兼10】に変更。
- ◎「大学道場miniゼミB」に【教授2・准教授1】を新規追加。併せて兼任・兼任【兼12】を【兼11】に変更。
- ◎「情報基礎」に【講師1】を新規追加。併せて兼任・兼任【兼1】を【兼2】に変更。
- ◎「情報メディア演習」に【講師1】を新規追加。併せて兼任・兼任を【兼1】を【兼2】に変更。
- ◎「健康スポーツ科学Ⅰ」に【教授2】を新規追加。
- ◎「いのちと共生」に【准教授1】を新規追加。併せて兼任・兼任【兼7】を【兼6】に変更。
- ◎「基礎統計学」の兼任・兼任【兼2】を【兼1】に変更。
- ◎「人体のふしぎ」に【教授1】を新規追加。併せて兼任・兼任を【兼6】を【兼5】に変更。
- ◎「安全学」の兼任・兼任を【兼6】を【兼5】に変更。
- ◎「生命と倫理」の兼任・兼任を【兼2】を【兼1】に変更。
- ◎「芸術文化論」の兼任・兼任を【兼3】を【兼1】に変更。
- ◎「国際社会論」の兼任・兼任を【兼1】を【兼2】に変更。
- ◎「教育と人間」の兼任・兼任を【兼3】を【兼2】に変更。
- ◎「地域との協働B」の兼任・兼任【兼2】を【兼3】に変更。
- ◎「コミュニティデザイン」の兼任・兼任【兼4】を【兼2】に変更。
- ◎「プロジェクトデザイン」の兼任・兼任【兼0】を【兼1】に変更。
- ◎「口腔の機能と構造」に【教授1】を新規追加。併せて兼任・兼任【兼1】を【兼0】に変更。
- ◎「薬理学」に【教授1】を新規追加。併せて兼任・兼任【兼1】を【兼0】に変更。
- ◎「医療英語Ⅱ」の【教授1】を【教授2】に変更。
- ◎「公衆衛生学」に【教授1】を新規追加。併せて兼任・兼任【兼1】を【兼0】に変更。
- ◎「歯科衛生士論Ⅰ」の【教授1】を【教授2】に変更。
- ◎「歯科診療の補助演習」の【教授1】、【准教授1】、【講師2】、【助教1】を【准教授1】、【講師2】に変更。
- ◎「口腔外科学・歯科麻酔学」の【教授2】を【教授1】に変更。
- ◎「機能再建系歯科診療補助演習」の【教授1】を【教授2】に変更。
- ◎「歯科予防処置論」の【准教授1】を【教授1】、【講師1】に変更。
- ◎「歯科予防処置演習Ⅰ」の【准教授1】、【講師2】を、【講師1】、【助教2】に変更。
- ◎「歯科予防処置演習Ⅱ」の【准教授1】、【講師2】を、【教授1】、【講師1】、【助教2】に変更。
- ◎「歯科予防処置演習Ⅲ」の【准教授1】、【講師1】を、【教授1】、【講師1】、【助教1】に変更。
- ◎「医療面接」の【教授3】、【講師1】を、【教授1】、【講師1】に変更。
- ◎「子ども学」の【助教1】を、【教授1】、【講師1】、【助教1】に変更。
- ◎「子どもの食と栄養」の【助教1】を、【教授2】、【助教1】に変更。
- ◎「早期臨床実習」の【教授4】を、【教授7】に変更。
- ◎「基礎臨床実習」の【教授4】を、【教授5】に変更。
- ◎「学びの基礎Ⅰ」の【教授6】、【准教授1】、【講師5】、【助教5】を、【教授2】、【講師1】、【助教1】に変更。

【令和6年度】

■専任教員等の配置変更について

- ◎まなぶる・ときわびとIに【准教授1】を新規追加。併せて兼任・兼担【兼22】を【兼20】に変更。
- ◎「大学道場miniゼミA」の【教授2】を【教授1】に変更。併せて兼任・兼担【兼10】を【兼13】に変更。
- ◎「大学道場miniゼミB」の【教授2】を【教授1】に変更。
- ◎「情報基礎」に【助教1】を新規追加。併せて兼任・兼担【兼2】を【兼4】に変更。
- ◎「情報メディア演習」の兼任・兼担【兼2】を【兼3】に変更。
- ◎「英語A (Communicative English Basic)」の兼任・兼担【兼2】を【兼1】に変更。
- ◎「英語B (Presentation Skills)」の兼任・兼担【兼1】を【兼2】に変更。
- ◎「いのちと共生」の兼任・兼担【兼6】を【兼7】に変更。
- ◎「国際理解」の兼任・兼担【兼9】を【兼7】に変更。
- ◎「いのちと共生」の兼任・兼担【兼6】を【兼7】に変更。
- ◎「科学技術論」の兼任・兼担【兼3】を【兼5】に変更。
- ◎「地域との協働A」の兼任・兼担【兼3】を【兼2】に変更。
- ◎「地域との協働B」の兼任・兼担【兼3】を【兼0】に変更。
- ◎「全身の健康と口腔科学」の【教授2】を【教授1】に変更。
- ◎「人体の構造と機能」の【教授1】を【教授2】に変更。
- ◎「微生物学・免疫学」の【教授1】を【教授2】に変更。
- ◎「口腔衛生学」に【講師1】を新規追加。
- ◎「防災教育と災害援助」の兼任・兼担【兼2】を【兼1】に変更。
- ◎「歯科衛生士論Ⅱ」に【講師1】を新規追加。
- ◎「歯科診療補助論」に【助教1】を新規追加。
- ◎「歯科診療の補助演習」に【教授1】を新規追加。
- ◎「歯科保存学」の【教授1】を【教授2】に変更。
- ◎「機能再建系歯科診療補助演習」の【教授2】を【教授3】に変更。
- ◎「成育系歯科診療補助演習」の【教授1】を【教授2】に変更。
- ◎「歯周疾患処置演習Ⅱ」に【教授2】、【助教1】を新規追加。
- ◎「IPW (多職種連携) 論」の兼任・兼担【兼2】を【兼3】に変更。
- ◎「子どもの食と栄養」に【講師1】を新規追加。
- ◎「早期臨地実習」の【教授7】、【講師4】、【助教4】を【教授8】、【講師5】、【助教2】に変更。
- ◎「基礎臨地実習」の【教授5】、【講師4】、【助教4】を【教授7】、【講師5】、【助教3】に変更。
- ◎「応用臨地実習」の【教授4】、【講師4】、【助教4】を【教授7】、【講師5】、【助教2】に変更。
- ◎「発展臨地実習」の【教授5】、【講師4】、【助教4】を【教授7】、【講師5】、【助教2】に変更。
- ◎「学びの基礎」の【教授2】、【講師1】、を【教授1】、【講師2】に変更。
- ◎「インターンシップ実習」の【教授1】を新規追加。【講師1】を【講師2】に変更。
- ◎「キャリアパスⅠ」の【講師1】を【講師2】に変更。
- ◎「キャリアパスⅢ」に【講師1】を新規追加。
- ◎「キャリアパスⅣ」に【講師1】を新規追加。
- ◎「国際保健医療活動Ⅰ」に【教授1】を新規追加。兼任・兼担【兼4】を【兼5】に変更。
- ◎「国際保健医療活動Ⅱ」の兼任・兼担【兼4】を【兼2】に変更。
- ◎「研究方法論」の【教授6】を【教授8】に変更。

【令和7年度】

教育カリキュラムの見直しや教員退職による授業科目の見直し等により一部の科目を変更。
変更内容の詳細については、「2授業科目の概要」(1) - ①授業科目表のとおり。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
67 科目	60 科目	8 科目	135 科目	67 科目 []	63 科目 [3]	8 科目 []	138 科目 [3]	(記入例：指定規則の場合) 【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計 (A) ○科目 変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計○科目

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム (新カリキュラム) の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム (旧カリキュラム) の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1		該	当	な	し	
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1		該	当	な	し	
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{135} = \boxed{0} \%$$

数式が入力されています。

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	神戸常盤大学附属と きわ幼稚園と共用				
	校 舎 敷 地	0㎡	19,723.54㎡	918.21㎡	20,658.06㎡					
	運 動 場 用 地	0㎡	6,267.00㎡	0㎡	6,267.00㎡					
	小 計	0㎡	26,006.85㎡	918.21㎡	26,925.06㎡					
	そ の 他	0㎡	6,131.64㎡	0㎡	6,131.64㎡					
	合 計	0㎡	32,122.18㎡	918.21㎡	33,056.70㎡					
(2) 校 舎	専 用	0㎡	25,657㎡	0㎡	25,657㎡					
	(0㎡)	(25,657㎡)	(0㎡)	(25,657㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	21室	演 習 室	3室	実験実習室	22室	情報処理学習施設	2室	語学学習施設	1室
					(補助職員 人)	(補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			(例) 令和7年4月 専任教員1名を新規 採用のため(7)			
	保健科学部 口腔保健学科			14 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点			
	大学全体	81,464 [9,886] (80,670 [9,682])	705 [185] (1,598 [179])	5,237 [3,847] (4,368 [2,813])	2,159 2084	8,469 7480	153 138			
	計	81,464 [9,886] (77,464 [9,736])	705 [185] (665 [175])	5,237 [3,847] (3,882 [2,456])	2,159 1999	8,469 7340	153 138			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	823㎡		118席		119,000冊					
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	3,500㎡ な		し							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
	教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	500千円	1,500千円	1,500千円			
	共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	0千円	10,000千円	40,000千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,460千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、補助金等								

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		神戸常盤大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
保健科学部	-	225	-	900	-				平成20	-	令和7年4月学生募集停止
看護学科	4	-	-	-	学士(看護学)	-	-	令和4	平成20	兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2	
医療検査学科	4	80	-	320	学士(医療検査学)	1.08	-	-	平成20	同上	
診療放射線学科	4	75	-	300	学士(診療放射線学)	1.20	1.10	令和2	令和2	同上	
口腔保健学科	4	70	-	280	学士(口腔保健学)	0.97	-	令和4	令和4	同上	
教育学部	-	80	-	320	-				平成24	-	
こども教育学科	4	80	-	320	学士(教育学)	0.84	-	-	平成24	兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2	
看護学部	4	85	0	340	-				令和7	-	
看護学科	4	85	0	340	学士(看護学)	1.11	-	-	令和7	兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2	
大学全体	4	390	-	1560	-	1.04	-	-	-	-	

大学の名称		〇〇短期大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		

大学の名称		〇〇高等専門学校						収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定してください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、

「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定してください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご確認ください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専任	教授	高橋 由希子 (51) <令和5年4月> 博士(歯学)	歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 基礎臨床実習 歯周疾患処置演習Ⅱ 応用臨床実習 オーラルヘルスマネジメント 研究方法論 発展臨床実習 歯周病管理実習 災害時の歯科衛生士の働き 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	高橋 由希子 (51) <令和5年4月> 博士(歯学)	歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 基礎臨床実習 歯周疾患処置演習Ⅱ 応用臨床実習 オーラルヘルスマネジメント 研究方法論 発展臨床実習 歯周病管理実習 災害時の歯科衛生士の働き 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	高橋 由希子 (53) <令和5年4月> 博士(歯学)	歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 基礎臨床実習 歯周疾患処置演習Ⅱ 応用臨床実習 オーラルヘルスマネジメント 研究方法論 発展臨床実習 歯周病管理実習 災害時の歯科衛生士の働き 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	高橋 由希子 (53) <令和5年4月> 博士(歯学)	歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 基礎臨床実習 歯周疾患処置演習Ⅱ 応用臨床実習 オーラルヘルスマネジメント 研究方法論	専任	教授	高橋 由希子 (54) <令和5年4月> 博士(歯学)	歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 歯周疾患処置演習Ⅱ 基礎臨床実習 オーラルヘルスマネジメント 研究方法論 IPW(多職種連携)演習 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 応用臨床実習 早期臨床実習 歯周病管理実習 歯科予防処置論 災害時の歯科衛生士の働き 発展臨床実習
兼任	講師	高橋 由希子 (51) <令和4年4月> 博士(歯学)	学びの基礎 早期臨床実習 歯科予防処置論	兼任	講師	高橋 由希子 (51) <令和4年4月> 博士(歯学)	学びの基礎 早期臨床実習 歯科予防処置論 大学進路miniゼミA	兼任	講師	高橋 由希子 (52) <令和4年4月> 博士(歯学)	早期臨床実習 歯科予防処置論	兼任	講師	高橋 由希子 (52) <令和4年4月> 博士(歯学)	早期臨床実習 歯科予防処置論				
専任	教授	山城 圭介 (44) <令和6年4月> 博士(歯学)	歯周疾患処置演習Ⅱ 応用臨床実習 国際保健医療活動Ⅱ 発展臨床実習 歯科医療と法律制度 研究方法論 口腔保健特論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	山城 圭介 (44) <令和6年4月> 博士(歯学)	歯周疾患処置演習Ⅱ 応用臨床実習 国際保健医療活動Ⅱ 発展臨床実習 歯科医療と法律制度 研究方法論 口腔保健特論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	山城 圭介 (45) <令和6年4月> 博士(歯学)	歯周疾患処置演習Ⅱ 応用臨床実習 国際保健医療活動Ⅱ 発展臨床実習 歯科医療と法律制度 研究方法論 口腔保健特論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	山城 圭介 (46) <令和6年4月> 博士(歯学)	歯周疾患処置演習Ⅱ 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ 早期臨床実習 微生物学・免疫学 歯科保存学 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨床実習 研究方法論	専任	教授	山城 圭介 (47) <令和6年4月> 博士(歯学)	歯周疾患処置演習Ⅱ 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ 早期臨床実習 微生物学・免疫学 歯科保存学 歯科補綴学 機能再建系歯科診療補助演習 研究方法論 国際保健医療活動Ⅰ キャリアパスⅡ IPW(多職種連携)論 人体のふしぎ 公衆衛生学 医療英語Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 口腔保健特論Ⅰ 応用臨床実習 歯周病管理実習 発展臨床実習
兼任	講師	山城 圭介 (44) <令和4年4月> 博士(歯学)	口腔衛生学 学びの基礎 早期臨床実習 微生物学・免疫学 産褥実習	兼任	講師	山城 圭介 (44) <令和4年4月> 博士(歯学)	口腔衛生学 学びの基礎 早期臨床実習 微生物学・免疫学 産褥実習	兼任	講師	山城 圭介 (45) <令和4年4月> 博士(歯学)	口腔衛生学 早期臨床実習 微生物学・免疫学 歯科保存学	兼任	講師	山城 圭介 (45) <令和4年4月> 博士(歯学)	口腔衛生学 早期臨床実習 微生物学・免疫学 歯科保存学				
専任	教授	江崎 ひろみ (57) <令和6年4月> 博士(保健学)	オーラルリハビリテーション論 キャリアパスⅡ 医療面接 高齢者歯科学 IPW(多職種連携)論 オーラルリハビリテーション演習 キャリアパスⅢ キャリアパスⅣ 研究方法論 発展臨床実習 IPW(多職種連携)演習 口腔健康管理学実習Ⅱ(高齢者) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	江崎 ひろみ (57) <令和6年4月> 博士(保健学)	オーラルリハビリテーション論 キャリアパスⅡ 医療面接 高齢者歯科学 IPW(多職種連携)論 オーラルリハビリテーション演習 キャリアパスⅢ キャリアパスⅣ 研究方法論 発展臨床実習 IPW(多職種連携)演習 口腔健康管理学実習Ⅱ(高齢者) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	江崎 ひろみ (58) <令和6年4月> 博士(保健学)	オーラルリハビリテーション論 キャリアパスⅡ 高齢者歯科学 IPW(多職種連携)論 オーラルリハビリテーション演習 キャリアパスⅢ キャリアパスⅣ 研究方法論 発展臨床実習 IPW(多職種連携)演習 口腔健康管理学実習Ⅱ(高齢者) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	江崎 ひろみ (59) <令和6年4月> 博士(保健学)	オーラルリハビリテーション論 高齢者歯科学 IPW(多職種連携)論 オーラルリハビリテーション演習 研究方法論 歯科診療補助論 学びの基礎 歯科衛生士論Ⅱ 子どもの食と栄養 早期臨床実習 医療面接 歯科衛生士論Ⅰ 対人援助技術演習 対人援助論 歯科診療の補助演習	専任	教授	江崎 ひろみ (60) <令和6年4月> 博士(保健学)	オーラルリハビリテーション論 高齢者歯科学 IPW(多職種連携)論 オーラルリハビリテーション演習 研究方法論 歯科診療補助論 学びの基礎 歯科衛生士論Ⅱ 子どもの食と栄養 早期臨床実習 医療面接 歯科衛生士論Ⅰ 対人援助技術演習 対人援助論 歯科診療の補助演習 卒業研究Ⅰ 基礎臨床実習 応用臨床実習 早期臨床実習 発展臨床実習
専任	講師	江崎 ひろみ (57) <令和4年4月> 博士(保健学)	歯科診療補助論 学びの基礎 歯科診療の補助演習 歯科衛生士論Ⅱ 子どもの食と栄養	専任	講師	江崎 ひろみ (57) <令和4年4月> 博士(保健学)	歯科診療補助論 学びの基礎 歯科診療の補助演習 歯科衛生士論Ⅱ 子どもの食と栄養	専任	講師	江崎 ひろみ (58) <令和4年4月> 博士(保健学)	歯科診療補助論 学びの基礎	専任	講師	江崎 ひろみ (58) <令和4年4月> 博士(保健学)	歯科診療補助論 学びの基礎				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専任	准教授	上原 弘美 (61) <令和6年4月> 学士(福祉経営学)	応用臨地実習 IPW(多職種連携)論 研究手法論 発展臨地実習 IPW(多職種連携)演習 歯科医療管理実習 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 卒業研究Ⅱ	専任	准教授	上原 弘美 (62) <令和6年4月> 学士(福祉経営学)	応用臨地実習 IPW(多職種連携)論 研究手法論 発展臨地実習 IPW(多職種連携)演習 歯科医療管理実習 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 卒業研究Ⅱ	専任	准教授	上原 弘美 (63) <令和6年4月> 学士(福祉経営学)	IPW(多職種連携)論 早期臨地実習 医療安全 歯科臨床検査総論 基礎臨地実習 大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB いのちと共生 まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ 放射線治療技術Ⅰ	専任	准教授	上原 弘美 (64) <令和6年4月> 学士(福祉経営学)	IPW(多職種連携)論 早期臨地実習 医療安全 歯科臨床検査総論 基礎臨地実習 大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB いのちと共生 まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ 放射線治療技術Ⅰ IPW(多職種連携)演習 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ 応用臨地実習 放射線治療技術Ⅰ 歯科医療管理実習 発展臨地実習 研究手法論				
兼任	講師	上原 弘美 (61) <令和4年4月> 学士(福祉経営学)	歯科診療補助論 学びの基礎 早期臨地実習 歯科診療の補助演習 医療安全 歯科臨床検査総論 基礎臨地実習	兼任	講師	上原 弘美 (61) <令和4年4月> 学士(福祉経営学)	歯科診療補助論 学びの基礎 早期臨地実習 歯科診療の補助演習 医療安全 歯科臨床検査総論 基礎臨地実習 大学道場miniゼミB	兼任	講師	上原 弘美 (62) <令和4年4月> 学士(福祉経営学)	歯科診療補助論 早期臨地実習 歯科診療の補助演習 医療安全 歯科臨床検査総論 基礎臨地実習 大学道場miniゼミB 大学道場miniゼミA いのちと共生								
専任	講師	澤田 美佐緒 (61) <令和6年4月> 修士(口腔保健学)	成人系歯科診療補助演習 オーラルリハビリテーション論 応用臨地実習 オーラルリハビリテーション演習 研究手法論 発展臨地実習 口腔健康管理実習Ⅱ(高齢者) 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ	専任	講師	澤田 美佐緒 (61) <令和6年4月> 修士(口腔保健学)	成人系歯科診療補助演習 オーラルリハビリテーション論 応用臨地実習 オーラルリハビリテーション演習 研究手法論 発展臨地実習 口腔健康管理実習Ⅱ(高齢者) 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ	専任	講師	澤田 美佐緒 (62) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	成人系歯科診療補助演習 オーラルリハビリテーション論 応用臨地実習 オーラルリハビリテーション演習 研究手法論 発展臨地実習 口腔健康管理実習Ⅱ(高齢者) 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ	専任	講師	澤田 美佐緒 (63) <令和6年4月> 修士(口腔保健学)	成人系歯科診療補助演習 オーラルリハビリテーション論 応用臨地実習 オーラルリハビリテーション演習 早期臨地実習 歯科診療の補助演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨地実習	専任	講師	澤田 美佐緒 (64) <令和6年4月> 修士(口腔保健学)	成人系歯科診療補助演習 オーラルリハビリテーション論 応用臨地実習 オーラルリハビリテーション演習 早期臨地実習 歯科診療の補助演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨地実習 卒業研究Ⅰ 口腔保健管理実習Ⅱ(高齢者) 口腔保健特論Ⅱ 口腔保健特論Ⅱ 基礎臨地実習 発展臨地実習 研究手法論
兼任	講師	澤田 美佐緒 (61) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	学びの基礎 早期臨地実習 歯科診療の補助演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨地実習	兼任	講師	澤田 美佐緒 (61) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	学びの基礎 早期臨地実習 歯科診療の補助演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨地実習	兼任	講師	澤田 美佐緒 (62) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	早期臨地実習 歯科診療の補助演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨地実習								
専任	講師	破産 幸枝 (56) <令和5年4月> 修士(教育学)	歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子どもの心理学 ワークキャリアプランニング 基礎臨地実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 応用臨地実習 医療面接 研究手法論 発展臨地実習 口腔健康管理実習Ⅰ(小児) 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ	専任	講師	破産 幸枝 (56) <令和5年4月> 修士(教育学)	歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子どもの心理学 ワークキャリアプランニング 基礎臨地実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 応用臨地実習 医療面接 研究手法論 発展臨地実習 口腔健康管理実習Ⅰ(小児) 卒業研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅱ	専任	講師	破産 幸枝 (57) <令和5年4月> 修士(教育学)	歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子どもの心理学 ワークキャリアプランニング 基礎臨地実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 医療面接 早期臨地実習 歯科予防処置演習Ⅰ	専任	講師	破産 幸枝 (58) <令和5年4月> 修士(教育学)	歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子どもの心理学 ワークキャリアプランニング 基礎臨地実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 医療面接 早期臨地実習 歯科予防処置演習Ⅰ	専任	講師	破産 幸枝 (59) <令和5年4月> 修士(教育学)	歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子どもの心理学 ワークキャリアプランニング 基礎臨地実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 医療面接 早期臨地実習 歯科予防処置演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 口腔保健管理実習Ⅰ(小児) 口腔保健特論Ⅱ 口腔保健特論Ⅱ 発展臨地実習 研究手法論
兼任	講師	破産 幸枝 (56) <令和4年4月> 修士(教育学)	学びの基礎 早期臨地実習 歯科予防処置演習 歯科予防処置演習Ⅰ	兼任	講師	破産 幸枝 (56) <令和4年4月> 修士(教育学)	学びの基礎 早期臨地実習 歯科予防処置演習 歯科予防処置演習Ⅰ	兼任	講師	破産 幸枝 (57) <令和4年4月> 修士(教育学)	早期臨地実習 歯科予防処置演習 歯科予防処置演習Ⅰ								

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名									
専任	中村 美紀 (50) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	担任授業科目名	専任	中村 美紀 (51) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	担任授業科目名	専任	中村 美紀 (52) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	担任授業科目名	専任	中村 美紀 (53) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	担任授業科目名
専任	室崎 友輔 (41) <令和6年4月> 修士(人間科学)	担任授業科目名	専任	室崎 友輔 (42) <令和6年4月> 修士(人間科学)	担任授業科目名	専任	室崎 友輔 (43) <令和6年4月> 修士(人間科学)	担任授業科目名	兼任	室崎 友輔 (44) <令和6年4月> 修士(人間科学)	担任授業科目名
兼任	室崎 友輔 (41) <令和4年4月> 修士(人間科学)	担任授業科目名	兼任	室崎 友輔 (42) <令和4年4月> 修士(人間科学)	担任授業科目名	兼任	室崎 友輔 (42) <令和4年4月> 修士(人間科学)	担任授業科目名			
専任	宮澤 絢子 (41) <令和6年4月> 博士(歯学)	担任授業科目名	専任	宮澤 絢子 (42) <令和6年4月> 博士(歯学)	担任授業科目名	専任	宮澤 絢子 (43) <令和6年4月> 博士(歯学)	担任授業科目名	専任	宮澤 絢子 (44) <令和6年4月> 博士(歯学)	担任授業科目名
兼任	宮澤 絢子 (41) <令和4年4月> 博士(歯学)	担任授業科目名	兼任	宮澤 絢子 (42) <令和4年4月> 博士(歯学)	担任授業科目名	兼任	宮澤 絢子 (42) <令和4年4月> 博士(歯学)	担任授業科目名			
専任	伴仲 謙欣 (49) <令和6年4月> 修士(教育学)	担任授業科目名	専任	伴仲 謙欣 (50) <令和6年4月> 修士(教育学)	担任授業科目名	専任	伴仲 謙欣 (51) <令和6年4月> 修士(教育学)	担任授業科目名			
兼任	伴仲 謙欣 (49) <令和4年4月> 修士(教育学)	担任授業科目名	兼任	伴仲 謙欣 (49) <令和4年4月> 修士(教育学)	担任授業科目名	兼任	伴仲 謙欣 (50) <令和4年4月> 修士(教育学)	担任授業科目名			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	氏橋 貴子 (47) <令和6年4月> 学士(経営学)	成育系歯科診療補助演習 早期臨床実習 歯科理工学演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨床実習	専任	助教	氏橋 貴子 (47) <令和6年4月> 学士(経営学)	成育系歯科診療補助演習 早期臨床実習 歯科理工学演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨床実習	専任	助教	氏橋 貴子 (48) <令和6年4月> 学士(経営学)	成育系歯科診療補助演習 早期臨床実習 歯科理工学演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨床実習	専任	助教	氏橋 貴子 (50) <令和6年4月> 学士(経営学)	成育系歯科診療補助演習 早期臨床実習 歯科理工学演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨床実習
兼任	講師	氏橋 貴子 (47) <令和4年4月> 学士(経営学)	学びの基礎 早期臨床実習 歯科理工学演習 歯科診療の補助演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨床実習	兼任	講師	氏橋 貴子 (47) <令和4年4月> 学士(経営学)	学びの基礎 早期臨床実習 歯科理工学演習 歯科診療の補助演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨床実習	兼任	講師	氏橋 貴子 (48) <令和4年4月> 学士(経営学)	早期臨床実習 歯科理工学演習 機能再建系歯科診療補助演習 基礎臨床実習	兼任	講師		
専任	助教	水村 容子 (37) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	学びの基礎 早期臨床実習 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子ども学 基礎臨床実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 応用臨床実習 発展臨床実習 口腔健康管理実習Ⅰ(小児) 歯周病管理実習 災害時の歯科衛生士の働き	専任	助教	水村 容子 (37) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	学びの基礎 早期臨床実習 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子ども学 基礎臨床実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 応用臨床実習 発展臨床実習 口腔健康管理実習Ⅰ(小児) 歯周病管理実習 災害時の歯科衛生士の働き 国際理解	専任	助教	水村 容子 (38) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	早期臨床実習 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子ども学 基礎臨床実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ 応用臨床実習 発展臨床実習 口腔健康管理実習Ⅰ(小児) 歯周病管理実習 災害時の歯科衛生士の働き 国際理解 まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ	専任	助教	水村 容子 (40) <令和4年4月> 修士(口腔保健学)	早期臨床実習 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子ども学 基礎臨床実習 歯周疾患処置演習Ⅱ キャリアパスⅠ まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ 国際理解 国際理解 まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ 応用臨床実習 災害時の歯科衛生士の働き 発展臨床実習
専任	助教	浅枝 麻夢可 (33) <令和6年4月> 修士(口腔健康科学)	インターンシップ実習 国際保健医療活動Ⅱ 応用臨床実習 健康教育法 発展臨床実習 地域口腔保健支援実習 健康教育の実践	専任	助教	浅枝 麻夢可 (33) <令和6年4月> 修士(口腔健康科学)	インターンシップ実習 国際保健医療活動Ⅱ 応用臨床実習 健康教育法 発展臨床実習 地域口腔保健支援実習 健康教育の実践	専任	助教	浅枝 麻夢可 (34) <令和6年4月> 修士(口腔健康科学)	インターンシップ実習 国際保健医療活動Ⅱ 応用臨床実習 健康教育法 発展臨床実習 地域口腔保健支援実習 健康教育の実践				
専任	講師	浅枝 麻夢可 (33) <令和4年4月> 修士(口腔健康科学)	学びの基礎 早期臨床実習 歯科衛生士論Ⅱ 口腔衛生管理演習 ライフステージ別健康支援演習 基礎臨床実習 まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ	専任	講師	浅枝 麻夢可 (33) <令和4年4月> 修士(口腔健康科学)	学びの基礎 早期臨床実習 歯科衛生士論Ⅱ 口腔衛生管理演習 ライフステージ別健康支援演習 基礎臨床実習 まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ	専任	講師	浅枝 麻夢可 (34) <令和4年4月> 修士(口腔健康科学)	早期臨床実習 歯科衛生士論Ⅱ 口腔衛生管理演習 ライフステージ別健康支援演習 基礎臨床実習 まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ				
専任	助教	川野 亜希 (29) <令和4年4月> 博士(歯学)	口腔衛生学 学びの基礎 早期臨床実習 生化学・栄養学 微生物学・免疫学 歯科理工学演習 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 栄養指導 ※ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子どもの食と栄養 基礎臨床実習 キャリアパスⅡ 応用臨床実習 キャリアパスⅢ キャリアパスⅣ 発展臨床実習 審美・矯正歯科実習 災害時の歯科衛生士の働き 口腔保健特論Ⅰ	専任	助教	西保 亜希 (29) <令和4年4月> 博士(歯学)	口腔衛生学 学びの基礎 早期臨床実習 生化学・栄養学 微生物学・免疫学 歯科理工学演習 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 歯科予防処置演習Ⅲ 栄養指導 ※ 歯周疾患処置演習Ⅰ 子どもの食と栄養 基礎臨床実習 キャリアパスⅡ 応用臨床実習 キャリアパスⅢ キャリアパスⅣ 発展臨床実習 審美・矯正歯科実習 災害時の歯科衛生士の働き 口腔保健特論Ⅰ まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ	専任	助教	西保 亜希 (30) <令和4年4月> 博士(歯学)	口腔衛生学 早期臨床実習 生化学・栄養学 微生物学・免疫学 歯科理工学演習 歯科予防処置演習Ⅰ 歯科予防処置演習Ⅱ 栄養指導 ※ 子どもの食と栄養 基礎臨床実習 キャリアパスⅡ 応用臨床実習 キャリアパスⅢ キャリアパスⅣ 発展臨床実習 審美・矯正歯科実習 災害時の歯科衛生士の働き 口腔保健特論Ⅰ	専任	講師	西保 亜希 (31) <令和4年4月> 博士(歯学)	口腔衛生学 早期臨床実習 歯科理工学演習 栄養指導 ※ 子どもの食と栄養 基礎臨床実習 歯科診療補助論 口腔衛生管理演習 歯科診療の補助演習 本系研究Ⅰ 口腔保健特論Ⅲ 応用臨床実習 歯科診療補助論 災害時の歯科衛生士の働き 発展臨床実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	教授	布引 治 (57) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	布引 治 (57) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	布引 治 (58) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	布引 治 (60) <令和4年4月> 博士(医学)
	大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミB	
兼任	教授	鈴木 高史 (54) <令和4年4月> 博士(第二基礎医学)	兼任	教授	鈴木 高史 (54) <令和4年4月> 博士(第二基礎医学)	兼任	教授	鈴木 高史 (55) <令和4年4月> 博士(第二基礎医学)	兼任	教授	鈴木 高史 (57) <令和4年4月> 博士(第二基礎医学)
	大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ			大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ 国際理解 科学技術論			国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ 国際理解 科学技術論 大学道場miniゼミA			国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ 国際理解 科学技術論 大学道場miniゼミB	
兼任	教授	松田 正文 (82) <令和4年4月> 医学士	兼任	教授	松田 正文 (82) <令和4年4月> 医学士	兼任	教授	松田 正文 (83) <令和4年4月> 医学士			
	人体のふしぎ 生命と倫理			大学道場miniゼミB			大学道場miniゼミB				
			兼任	教授	今井 方丈 (68) <令和4年4月> 学士(保健衛生学)	兼任	教授	今井 方丈 (69) <令和4年4月> 学士(保健衛生学)	兼任	教授	今井 方丈 (70) <令和4年4月> 学士(保健衛生学)
				大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA	
兼任	教授	谷口 英明 (66) <令和4年4月> 文学士	兼任	教授	谷口 英明 (66) <令和4年4月> 文学士	兼任	教授	谷口 英明 (67) <令和4年4月> 文学士	兼任	教授	谷口 英明 (68) <令和4年4月> 文学士
	コミュニケーション論 芸術文化論			コミュニケーション論 芸術文化論			コミュニケーション論 芸術文化論			コミュニケーション論 芸術文化論	
			兼任	教授	南 利明 (56) <令和4年4月> 修士(医療科学)						
				まなぶる>ときわびとⅠ							
兼任	教授	山崎 麻由美 (61) <令和4年4月> 文学修士 Master of Education in TESOL(米國)	兼任	教授	山崎 麻由美 (61) <令和4年4月> 文学修士 Master of Education in TESOL(米國)	兼任	教授	山崎 麻由美 (62) <令和4年4月> 文学修士 Master of Education in TESOL(米國)	兼任	教授	山崎 麻由美 (63) <令和4年4月> 文学修士 Master of Education in TESOL(米國)
	大学道場miniゼミA 英語コミュニケーションⅠ 英語D(Academic English)			大学道場miniゼミA 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語Ao(Communicative English Advanced) 大学道場miniゼミB			英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語Ao(Communicative English Advanced) 大学道場miniゼミB			英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語Ao(Communicative English Advanced) 大学道場miniゼミB	
兼任	教授	高久 圭二 (57) <令和4年4月> 博士(理学)	兼任	教授	高久 圭二 (57) <令和4年4月> 博士(理学)	兼任	教授	高久 圭二 (58) <令和4年4月> 博士(理学)	兼任	教授	高久 圭二 (59) <令和4年4月> 博士(理学)
	まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ まなぶる>ときわびとⅢ 大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB			大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 暮らしの中の物理学 科学技術論			大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 暮らしの中の物理学 科学技術論			大学道場miniゼミA 暮らしの中の物理学 科学技術論	
兼任	教授	対間 博之 (52) <令和6年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	対間 博之 (52) <令和6年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	対間 博之 (53) <令和6年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	対間 博之 (54) <令和6年4月> 博士(保健学)
	IPW(多職種連携)論			IPW(多職種連携)論			IPW(多職種連携)論			人体のふしぎ	
兼任	教授	長尾 厚子 (74) <令和4年9月> 修士(人間科学)									
	いのちと共生										
兼任	教授	岩越 美恵 (72) <令和4年4月> 医学博士	兼任	教授	岩越 美恵 (72) <令和4年4月> 医学博士	兼任	教授	岩越 美恵 (73) <令和4年4月> 医学博士	兼任	教授	岩越 美恵 (74) <令和4年4月> 医学博士
	大学道場miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ			大学道場miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ			健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ			健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ	
兼任	教授	柳本 有二 (65) <令和4年4月> 博士(医学)									
	大学道場miniゼミA 健康スポーツ科学Ⅰ ※ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ										

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	教授	山下 敦子 (51) <令和4年9月> 修士(学校教育学)	兼任	教授	山下 敦子 (52) <令和4年9月> 修士(学校教育学)	兼任	教授	山下 敦子 (53) <令和4年9月> 修士(学校教育学)	兼任	教授	山下 敦子 (54) <令和4年9月> 修士(学校教育学)
	アカデミックライティング			アカデミックライティング			アカデミックライティング			アカデミックライティング	
兼任	准教授	関 雅幸 (57) <令和4年9月> 博士(理学)	兼任	准教授	関 雅幸 (57) <令和4年9月> 博士(理学)	兼任	准教授	関 雅幸 (58) <令和4年9月> 博士(理学)	兼任	准教授	関 雅幸 (60) <令和4年9月> 博士(理学)
	大学道場miniゼミB プログラミング入門			プログラミング入門			プログラミング入門			プログラミング入門 大学道場miniゼミB	
兼任	准教授	木村 英理 (46) <令和4年4月> 学士(診療放射線技術学)									
	まなぶる*ときわびとI まなぶる*ときわびとII まなぶる*ときわびとIII										
兼任	准教授	魚崎 須美 (62) <令和4年9月> 修士(地域看護学)	兼任	教授	魚崎 須美 (62) <令和4年9月> 修士(地域看護学)						
	大学道場miniゼミB			大学道場miniゼミA							
兼任	准教授	藤原 桜 (61) <令和6年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授	藤原 桜 (61) <令和6年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授	藤原 桜 (62) <令和6年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授	藤原 桜 (63) <令和6年4月> 修士(看護学)
	国際保健医療活動I			国際保健医療活動I 大学道場miniゼミB 国際理解			国際保健医療活動I			国際保健医療活動I	
兼任	准教授	黒野 利佐子 (57) <令和4年4月> Master of Science in Nursing(米国)	兼任	准教授	黒野 利佐子 (57) <令和4年4月> Master of Science in Nursing(米国)	兼任	准教授	黒野 利佐子 (58) <令和4年4月> Master of Science in Nursing(米国)	兼任	准教授	黒野 利佐子 (59) <令和4年4月> Master of Science in Nursing(米国)
	大学道場miniゼミA 国際保健医療活動II			大学道場miniゼミA 国際保健医療活動II 国際理解			大学道場miniゼミA 国際保健医療活動II 国際理解 大学道場miniゼミB			大学道場miniゼミA 国際理解 大学道場miniゼミB 人体のふしぎ	
兼任	准教授	島内 敦子 (57) <令和4年4月> 看護学士	兼任	准教授	島内 敦子 (57) <令和4年4月> 看護学士	兼任	教授	島内 敦子 (58) <令和4年4月> 看護学士	兼任	教授	島内 敦子 (59) <令和4年4月> 看護学士
	大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミB	
兼任	准教授	山口 有美 (56) <令和4年9月> 博士(学術)	兼任	准教授	山口 有美 (56) <令和4年9月> 博士(学術)						
	大学道場miniゼミB			大学道場miniゼミB							
兼任	准教授	岩切 由紀 (55) <令和4年4月> 修士(看護学)									
	大学道場miniゼミA										
兼任	准教授	立垣 祐子 (50) <令和4年4月> 修士(保健学)	兼任	准教授	立垣 祐子 (50) <令和4年4月> 修士(保健学)	兼任	准教授	立垣 祐子 (51) <令和4年4月> 修士(保健学)			
	まなぶる*ときわびとI まなぶる*ときわびとII まなぶる*ときわびとIII 大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA				
			兼任	准教授	伊東 愛 (46) <令和4年9月> 修士(看護学)						
				大学道場miniゼミB							
兼任	准教授	笹井 隆邦 (62) <令和4年4月> 農学修士	兼任	准教授	笹井 隆邦 (62) <令和4年4月> 農学修士	兼任	准教授	笹井 隆邦 (63) <令和4年4月> 農学修士	兼任	准教授	笹井 隆邦 (64) <令和4年4月> 農学修士
	人類と地球環境			人類と地球環境 大学道場miniゼミB			人類と地球環境			人類と地球環境 大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB	
兼任	准教授	臨本 聡美 (56) <令和6年9月> 英文学修士	兼任	准教授	臨本 聡美 (56) <令和6年9月> 英文学修士	兼任	准教授	臨本 聡美 (57) <令和6年9月> 英文学修士	兼任	准教授	臨本 聡美 (58) <令和6年9月> 英文学修士
	コミュニケーションブリック 国際理解			コミュニケーションブリック 国際理解			コミュニケーションブリック 国際理解			コミュニケーションブリック 国際理解	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任 助教		紀ノ岡 浩美 (50) <令和4年4月> 学士(看護学)	兼任 助教		紀ノ岡 浩美 (50) <令和4年4月> 学士(看護学)	兼任 講師		紀ノ岡 浩美 (51) <令和4年4月> 学士(看護学)			
		まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅢ 地域との協働A			まなぶる>ときわびとⅠ 地域との協働A 国際理解			まなぶる>ときわびとⅠ 地域との協働A 国際理解			
兼任 助教		坂井 利衣 (40) <令和4年4月> 修士(保健看護学)	兼任 助教		坂井 利衣 (40) <令和4年4月> 修士(保健看護学)						
		まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅢ			まなぶる>ときわびとⅠ						
兼任 助教		松岡 真菜 (40) <令和4年4月> 学士(看護学)	兼任 助教		松岡 真菜 (40) <令和4年4月> 学士(看護学)	兼任 助教		松岡 真菜 (41) <令和4年4月> 学士(看護学)			
		まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅢ			まなぶる>ときわびとⅠ			まなぶる>ときわびとⅠ			
						兼任 助教		大槻 吉野美 (33) <令和5年4月> 修士(看護学)			
								まなぶる>ときわびとⅠ			
			兼任 教授		中野 耀子 (74) <令和4年4月> 修士(医療安全管理学)	兼任 教授		中野 耀子 (75) <令和4年4月> 修士(医療安全管理学)			
					国際理解			国際理解			
兼任 講師		小崎 達介 (26) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任 講師		小崎 達介 (26) <令和4年4月> 修士(教育学)						
		まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅢ			まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ						
兼任 講師		内橋 一恵 (41) <令和4年4月> 修士(学術)	兼任 講師		内橋 一恵 (41) <令和4年4月> 修士(学術)	兼任 講師		内橋 一恵 (42) <令和4年4月> 修士(学術)			
		まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ まなぶる>ときわびとⅢ 多文化コミュニケーション 国際社会論			まなぶる>ときわびとⅡ 多文化コミュニケーション 国際社会論			まなぶる>ときわびとⅠ 多文化コミュニケーション 国際社会論			
兼任 講師		小野 昌二 (55) <令和4年4月> 修士(学校教育学)									
		健康スポーツ科学Ⅱ									
兼任 講師		神田 大輔 (47) <令和4年9月> 博士(文学)	兼任 講師		神田 大輔 (47) <令和4年9月> 博士(文学)	兼任 講師		神田 大輔 (48) <令和4年9月> 博士(文学)			
		アカデミックライティング			アカデミックライティング			アカデミックライティング			
兼任 講師		千石 真理 (58) <令和4年4月> 医学博士	兼任 講師		千石 真理 (58) <令和4年4月> 医学博士	兼任 講師		千石 真理 (59) <令和4年4月> 医学博士			
		いのちと共生 英語コミュニケーションⅡ 英語Aa (Communicative English Basic)			いのちと共生			いのちと共生			
兼任 講師		小西 千鶴 (57) <令和4年4月> 文学修士	兼任 講師		小西 千鶴 (57) <令和4年4月> 文学修士	兼任 講師		小西 千鶴 (58) <令和4年4月> 文学修士			
		英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語B (Presentation Skills) 英語C (Cultural Studies)			英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語B (Presentation Skills) 英語C (Current Issues)			英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語B (Presentation Skills) 英語C (Current Issues)			
兼任 講師		Carol K.Dallos (63) <令和4年9月> Bachelor of Science in Business Administration(米国)	兼任 講師		Carol K.Dallos (63) <令和4年9月> Bachelor of Science in Business Administration(米国)	兼任 講師		Carol K.Dallos (64) <令和4年9月> Bachelor of Science in Business Administration(米国)			
		英語Ab (Communicative English Intermediate)			英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語Aa (Communicative English Basic)			英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語Aa (Communicative English Basic) 英語B (Presentation Skills) 英語Aa (Communicative English Advanced)			
			兼任 講師		田中 達也 (38) <令和4年4月> 学士(教育学)	兼任 講師		田中 達也 (39) <令和4年4月> 学士(教育学)			
					まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ			まなぶる>ときわびとⅠ まなぶる>ときわびとⅡ 大学進路miniゼミB 情報基礎 情報メディア演習			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
				兼任 講師		松本 大祐 (27) <令和4年4月> 修士(教育学)	健康スポーツ科学Ⅰ	兼任 講師		松本 大祐 (28) <令和4年4月> 修士(教育学)	健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ				
				兼任 講師		柳 敏晴 (74) <令和4年4月> 体育学士	健康スポーツ科学Ⅱ								
				兼任 講師		柳本 大三 (67) <令和4年4月> 経営学士	健康スポーツ科学Ⅲ	兼任 講師		柳本 大三 (68) <令和4年4月> 経営学士	健康スポーツ科学Ⅲ	兼任 講師		柳本 大三 (70) <令和4年4月> 経営学士	健康スポーツ科学Ⅲ
兼任 講師		浅野 京子 (74) <令和4年4月> 専門学校卒	手話コミュニケーション	兼任 講師		浅野 京子 (74) <令和4年4月> 専門学校卒	手話コミュニケーション	兼任 講師		浅野 京子 (75) <令和4年4月> 専門学校卒	手話コミュニケーション	兼任 講師		浅野 京子 (77) <令和4年4月> 専門学校卒	手話コミュニケーション
兼任 講師		江上 秀子 (80) <令和4年9月> 専門学校卒	いのちと共生	兼任 講師		江上 秀子 (80) <令和4年9月> 専門学校卒	いのちと共生								
兼任 講師		金 千秋 (70) <令和4年4月> 理学士	安全学 防災教育と災害援助 国際理解	兼任 講師		金 千秋 (70) <令和4年4月> 理学士	安全学 防災教育と災害援助 国際理解	兼任 講師		金 千秋 (71) <令和4年4月> 理学士	安全学 防災教育と災害援助 国際理解	兼任 講師		金 千秋 (72) <令和4年4月> 理学士	安全学 防災教育と災害援助 国際理解
兼任 講師		西岡 伸紀 (64) <令和4年4月> 教育学修士	安全学	兼任 講師		西岡 伸紀 (64) <令和4年4月> 教育学修士	安全学								
兼任 講師		馬場 栄二 (56) <令和4年4月> 法学士	安全学	兼任 講師		馬場 栄二 (56) <令和4年4月> 法学士	安全学								
兼任 講師		伴 俊作 (68) <令和4年4月> 経済学士	安全学												
兼任 講師		柴山 慶太 (48) <令和4年4月> 法務博士(専門職)	安全学 日本国憲法	兼任 講師		柴山 慶太 (48) <令和4年4月> 法務博士(専門職)	安全学 日本国憲法	兼任 講師		柴山 慶太 (49) <令和4年4月> 法務博士(専門職)	安全学 日本国憲法	兼任 講師		柴山 慶太 (50) <令和4年4月> 法務博士(専門職)	安全学 日本国憲法
兼任 講師		本田 英理 (52) <令和4年4月> -	安全学			本田 英理 (53) <令和4年4月> -	安全学	兼任 講師		本田 英理 (54) <令和4年4月> -	安全学	兼任 講師		本田 英理 (55) <令和4年4月> -	安全学
				兼任 講師		菊地 隆之 (46) <令和4年4月> 学士(経営学)	安全学	兼任 講師		菊地 隆之 (47) <令和4年4月> 学士(経営学)	安全学	兼任 講師		菊地 隆之 (48) <令和4年4月> 学士(経営学)	安全学
兼任 講師		大菅 誠司 (71) <令和4年4月> 農学修士	人類と農学	兼任 講師		大菅 誠司 (71) <令和4年4月> 農学修士	人類と農学	兼任 講師		大菅 誠司 (72) <令和4年4月> 農学修士	人類と農学	兼任 講師		大菅 誠司 (73) <令和4年4月> 農学修士	人類と農学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等												
		担当授業科目名												
兼任	講師	中野 康次郎 (55) <令和4年4月> 文学修士	兼任	講師	中野 康次郎 (55) <令和4年4月> 文学修士	兼任	講師	中野 康次郎 (56) <令和4年4月> 文学修士	兼任	講師	中野 康次郎 (57) <令和4年4月> 文学修士	兼任	講師	中野 康次郎 (58) <令和4年4月> 文学修士
		哲学			哲学と倫理			哲学と倫理			哲学と倫理			哲学と倫理
兼任	講師	児玉 正幸 (72) <令和4年9月> 博士(文学)												
		生命と倫理												
兼任	講師	富士 莊貴 (52) <令和4年4月> 学士(文学)												
		芸術文化論												
兼任	講師	藪 葉子 (50) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	藪 葉子 (50) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	藪 葉子 (51) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	藪 葉子 (52) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	藪 葉子 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		文学												
兼任	講師	片山 正彦 (48) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	片山 正彦 (48) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	片山 正彦 (49) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	片山 正彦 (50) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任	講師	片山 正彦 (51) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本通史												
兼任	講師	山田 勝久 (78) <令和4年9月> 文学修士												
		世界の時事												
兼任	講師	足立 了平 (67) <令和4年4月> 歯学博士	兼任	講師	足立 了平 (67) <令和4年4月> 歯学博士									
		教育と人間			教育と人間									
兼任	講師	関本 雅子 (72) <令和4年4月> 医学士	兼任	講師	関本 雅子 (72) <令和4年4月> 医学士	兼任	講師	関本 雅子 (73) <令和4年4月> 医学士	兼任	講師	関本 雅子 (74) <令和4年4月> 医学士	兼任	講師	関本 雅子 (75) <令和4年4月> 医学士
		教育と人間												
兼任	講師	中川 欣也 (67) <令和4年9月> 高等学校卒												
		災害とまちづくり												
			兼任	講師	森永 道男 (64) <令和4年4月> 博士(学術)	兼任	講師	森永 道男 (65) <令和4年4月> 博士(学術)	兼任	講師	森永 道男 (66) <令和4年4月> 博士(学術)	兼任	講師	森永 道男 (67) <令和4年4月> 博士(学術)
					災害とまちづくり			災害とまちづくり プロジェクトデザイン			災害とまちづくり プロジェクトデザイン			災害とまちづくり プロジェクトデザイン
兼任	講師	西 修 (62) <令和4年9月> 工学修士	兼任	講師	西 修 (62) <令和4年9月> 工学修士	兼任	講師	西 修 (63) <令和4年9月> 工学修士	兼任	講師	西 修 (64) <令和4年9月> 工学修士			
		コミュニティデザイン			コミュニティデザイン			コミュニティデザイン			コミュニティデザイン			
兼任	講師	藤岡 健 (52) <令和4年9月> 法学士	兼任	講師	藤岡 健 (52) <令和4年9月> 法学士	兼任	講師	藤岡 健 (53) <令和4年9月> 法学士	兼任	講師	藤岡 健 (54) <令和4年9月> 法学士	兼任	講師	藤岡 健 (55) <令和4年9月> 法学士
		コミュニティデザイン												
兼任	講師	竹内 雅規 (65) <令和5年4月> 歯学博士	兼任	講師	竹内 雅規 (65) <令和5年4月> 歯学博士									
		口腔の構造と機能			口腔の構造と機能									
兼任	講師	國友 勝 (82) <令和5年4月> 薬学博士	兼任	講師	國友 勝 (82) <令和5年4月> 薬学博士									
		薬理学			薬理学									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	講師	新庄 文明 (75) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	新庄 文明 (75) <令和5年4月> 医学博士						
	公衆衛生学			公衆衛生学							
兼任	講師	高橋 千鶴 (70) <令和7年4月> 専門学校卒	兼任	講師	高橋 千鶴 (70) <令和7年4月> 専門学校卒	兼任	講師	高橋 千鶴 (71) <令和7年4月> 専門学校卒			
	歯科医療と法律制度			歯科医療と法律制度			歯科医療と法律制度				
兼任	講師	山下 紗矢佳 (37) <令和7年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	山下 紗矢佳 (37) <令和7年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	山下 紗矢佳 (38) <令和7年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	山下 紗矢佳 (40) <令和7年4月> 博士(経営学)
	歯科医療と経済			歯科医療と経済 組織マネジメント論			歯科医療と経済 組織マネジメント論			組織マネジメント論	
兼任	講師	宮田 英和 (66) <令和6年4月> 工学士	兼任	講師	宮田 英和 (66) <令和6年4月> 工学士						
	防災教育と災害援助			防災教育と災害援助 救済学							
兼任	講師	村田 良子 (60) <令和4年4月> 修士(地域保健)	兼任	講師	村田 良子 (60) <令和4年4月> 修士(地域保健)	兼任	講師	村田 良子 (62) <令和4年4月> 修士(地域保健)	兼任	講師	村田 良子 (63) <令和4年4月> 修士(地域保健)
	歯科衛生士論 I			歯科衛生士論 I			歯科衛生士論 I			歯科衛生士論 I 国際保健医療活動 II	
兼任	講師	駒井 正 (76) <令和6年9月> 歯学博士	兼任	講師	駒井 正 (76) <令和6年9月> 歯学博士	兼任	講師	駒井 正 (77) <令和6年9月> 歯学博士			
	高齢者歯科学			高齢者歯科学			高齢者歯科学				
兼任	講師	北垣 志麻 (61) <令和6年9月> 歯学士	兼任	講師	北垣 志麻 (61) <令和6年9月> 歯学士	兼任	講師	北垣 志麻 (62) <令和6年9月> 歯学士			
	障害者歯科学			障害者歯科学			障害者歯科学				
兼任	講師	Shiba Kumar Rai (72) <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	講師	Shiba Kumar Rai (72) <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	講師	Shiba Kumar Rai (73) <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	講師	Shiba Kumar Rai (74) <令和6年4月> 博士(医学)
	国際保健医療活動 I 国際保健医療活動 II			国際保健医療活動 I 国際保健医療活動 II			国際保健医療活動 I 国際保健医療活動 II			国際保健医療活動 I 国際保健医療活動 II	
						兼任	講師	並井 亮 (68) <令和6年4月> 理学士(物理)			
								現代社会と化学			
						兼任	講師	山下 耕平 (31) <令和6年4月> 修士(学術)	兼任	講師	山下 耕平 (32) <令和6年4月> 修士(学術)
								健康スポーツ科学 I 健康スポーツ科学 II 健康スポーツ科学 III			健康スポーツ科学 I 健康スポーツ科学 II 健康スポーツ科学 III
						兼任	講師	上山 繁 <令和6年4月>	兼任	講師	上山 繁 <令和6年4月>
								安全学			安全学
						兼任	講師	神前 圭吾 (27) <令和6年4月> 学士(歯学)			
								障害者歯科学			

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
- ・その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の年齢**を記入してください。
- ・専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・教育内容を充実させるべく、吉田幸恵教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」、「健康スポーツ科学Ⅰ」、「早期臨地実習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、福田昌代教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、八木孝和教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」、「健康スポーツ科学Ⅰ」を追加。
- ・新規採用に伴い森谷徳文教授を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、高橋由希子教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、山城圭介教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」、「人体のふしぎ」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、山崎ひろみ教授の担当授業科目に「早期臨地実習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、上原弘美准教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、室崎友輔講師の担当授業科目に「情報基礎」、「情報メディア演習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、伴仲謙助助教の担当授業科目に「情報基礎」、「情報メディア演習」、「国際理解」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、水村容子助教の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、浅枝麻夢助教の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、西保亜希助教の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、瀧田道夫教授の担当授業科目に「国際社会論」、「科学技術論」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、塩谷英之教授の担当授業科目に「人体のふしぎ」、「生命と倫理」を追加。
- ・栗岡誠司教授を依願退職に伴い削除。
- ・安藤啓司教授を依願退職に伴い削除。
- ・教育内容を充実させるべく、大澤佳代教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・教育効果に配慮し、鈴木高史教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「国際理解」、「科学技術論」を追加。
- ・教育効果に配慮し、松田正文教授の担当授業科目から「人体のふしぎ」、「生命と倫理」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、今井方丈教授を「大学道場miniゼミA」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、南利明教授を「まなぶる」ときわびとⅠ」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、山崎真由美教授の担当授業科目に「英語コミュニケーションⅡ」を追加。
- ・教育効果に配慮し高久圭二教授の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「科学技術論」を追加。
- ・長尾厚子教授を逝去に伴い削除。
- ・柳本有二教授を依願退職に伴い削除。
- ・教育内容を充実させるべく、十九百君子教授を「大学道場miniゼミB」の科目担当者として追加。
- ・生島祥江教授を依願退職に伴い削除。
- ・教育内容を充実させるべく、尾崎雅子教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」、「いのちと共生」を追加。
- ・教育効果に配慮し、中田康夫教授の担当授業科目から「コミュニティデザイン」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「情報メディア演習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、土本麻耶教授の担当授業科目に「情報基礎」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、藤原桜准教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」、「国際理解」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、黒野利佐子准教授の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・担当授業科目消滅に伴い岩切由紀教授を削除。
- ・教育効果に配慮し立垣祐子准教授の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、伊東愛准教授を「大学道場miniゼミB」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、笹井隆邦准教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、脇本聡美准教授の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、近藤みづき准教授の担当授業科目に「健康スポーツ科学Ⅱ」を追加。
- ・教育効果に配慮し田村周二講師の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅡ」を削除。
- ・教育効果に配慮し澤村暢講師の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。
- ・R4.4.1より伊藤彰氏が准教授に昇格。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「情報メディア演習」、「暮らしの中の数学」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、桂千広講師の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」、「国際理解」を追加。
- ・永島聡講師を依願退職に伴い兼任講師から兼任講師に変更。同氏を「心理臨床学」、「人間関係論」の科目担当者として再任。
- ・教育内容を充実させるべく、大城亜水講師の担当授業科目に「情報基礎」、「情報メディア演習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、鳥袋梢助教の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・三浦真希子助教を依願退職に伴い削除。
- ・教育内容を充実させるべく、佐野太亮助教の担当授業科目に「情報基礎」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、長谷川大輔助教を「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、市川尚助教の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」、「情報基礎」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、北川薫助教を「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、紀ノ岡浩美助教の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、小崎遼介助教の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。
- ・教育効果に配慮し内橋一恵講師の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「国際社会論」を追加。
- ・授業科目消滅に伴い小野昌二講師を削除。
- ・教育効果に配慮し千石真理講師の担当授業科目から「英語コミュニケーションⅡ」、「英語Aa (Communicative English Basic)」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、Carol K. Dallos講師の担当授業科目に「英語Aa (Communicative English Basic)」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、田中達也講師を「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、松本大祐講師を「健康スポーツ科学Ⅰ」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、柳敏晴講師を「健康スポーツ科学Ⅱ」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、柳本太三講師を「健康スポーツ科学Ⅲ」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、金千秋講師の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・授業科目消滅に伴い伴俊作講師を削除。
- ・授業科目消滅に伴い本田英理講師を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、菊地隆之講師を「安全学」の科目担当者として追加。
- ・授業科目消滅に伴い児玉正幸講師を削除。
- ・授業科目消滅に伴い富士莊貴講師を削除。
- ・授業科目消滅に伴い山田勝久講師を削除。
- ・授業科目消滅に伴い中川欣也講師を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、森永速男講師を「災害とまちづくり」の科目担当者として追加。

【令和5年度】

- ・教育効果に配慮し、吉田幸恵教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、福田昌代教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「学びの基礎」、「医療面接」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、八木孝和教授の担当授業科目に「口腔の構造と機能」を追加。
- ・また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「学びの基礎」、「生化学・栄養学」、「歯科理工学」、「歯科理工学演習」、「口腔外科学・歯科麻酔学」、「医療面接」、「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、森谷徳文教授の担当授業科目に「病理学」、「薬理学」、「医療英語Ⅱ」、「口腔外科学・歯科麻酔学」、「機能再建系歯科診療補助演習」、「基礎臨床実習」を追加。また、教育効果に配慮し同教授の担当授業科目から「学びの基礎」を削除。
- ・教育効果に配慮し、高橋由希子教授の担当授業科目から「学びの基礎」、「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、山城圭介教授の授業科目に「公衆衛生学」を追加。また、教育効果に配慮し同教授の担当授業科目から「学びの基礎」、「病理学」、「口腔外科学・歯科麻酔学」、「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、江崎ひろみ教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」、「大学道場miniゼミB」、「歯科衛生士論Ⅰ」を追加。
- ・また、教育効果に配慮し、同教授の担当授業科目から「歯科診療の補助演習」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、上原弘美准教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」、「いのちと共生」を追加。また、教育効果に配慮し、同教授の担当授業科目から「学びの基礎」を削除。
- ・教育効果に配慮し、澤田美佐緒講師の担当授業科目から「学びの基礎」を削除。
- ・教育効果に配慮し、破廣幸枝講師の担当授業科目から「学びの基礎」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、中村美紀講師の担当授業科目に「地域との協働B」、「子ども学」を追加。また、教育効果に配慮し、同講師の担当授業科目から「学びの基礎」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、宮澤絢子講師の担当授業科目に「国際理解」、「医療英語Ⅰ」を追加。また、教育効果に配慮し、同講師の担当授業科目から「学びの基礎」を削除。
- ・教育効果に配慮し、伴仲謙欣助教の担当授業科目から「情報基礎」、「情報メディア演習」を削除。
- ・教育効果に配慮し、氏橋貞子助教の担当授業科目から「学びの基礎」、「歯科診療の補助演習」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、水村容子助教の担当授業科目に「まなぶるときわびとⅠ」、「まなぶるときわびとⅡ」を追加。
- ・また、教育効果に配慮し、同助教の担当授業科目から「学びの基礎」を削除。
- ・教育効果に配慮し、浅枝夢可助教の担当授業科目から「学びの基礎」を削除。
- ・教育効果に配慮し、西保亜希助教の担当授業科目から「学びの基礎」、「歯科予防処置演習Ⅲ」、「歯周疾患処置演習Ⅰ」、「まなぶるときわびとⅠ」、「まなぶるときわびとⅡ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、塩谷英之教授の担当授業科目から「生命と倫理」を削除。
- ・教育効果に配慮し、林伸英教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、斎倉匡文教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。また、教育効果に配慮し、同教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育効果に配慮し、新谷路子同教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育効果に配慮し、大澤佳代教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育効果に配慮し、鈴木高史教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。また、教育内容を充実させるべく、同教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・教育効果に配慮し、南利明教授の担当授業科目から「まなぶるときわびとⅠ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、山崎真由美教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。また、教育内容を充実させるべく、同教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育効果に配慮し、岩越美恵教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育効果に配慮し、十九百君子教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育効果に配慮し、庄司靖枝教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育効果に配慮し、尾崎雅子教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」、「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育効果に配慮し、中田康夫教授の担当授業科目から「情報基礎」、「情報メディア演習」、「超ときわびと」を削除。
- ・また、教育内容を充実させるべく、同教授の担当授業科目に「暮らしの中の数学」、「生命と倫理」を追加。
- ・教育効果に配慮し、大森雅人教授の担当授業科目から「情報基礎」を削除。
- ・退職に伴い坊垣美也子准教授を削除。
- ・教育効果に配慮し、魚崎須美教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、黒野利佐子准教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育効果に配慮し、島内敦子教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・退職に伴い山口有美准教授を削除。
- ・教育効果に配慮し、伊東愛准教授の担当科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育効果に配慮し、笹井隆邦准教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・退職に伴い田村周二講師を削除。
- ・退職に伴い杉山育代を削除。
- ・教育効果に配慮し、今西麻樹子講師の担当授業科目から「まなぶるときわびとⅡ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、溝越祐志の担当授業科目から「まなぶるときわびとⅠ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、伊藤彰准教授の担当授業科目から、「暮らしの中の数学」を削除。
- ・教育効果に配慮し、桂千広講師の担当授業科目から「まなぶるときわびとⅠ」、「まなぶるときわびとⅡ」、「国際理解」を削除。
- ・教育効果に配慮し、尾崎優子講師の担当授業科目から「まなぶるときわびとⅠ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、原希代講師の担当授業科目から「まなぶるときわびとⅠ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、大城亜水講師の担当授業科目から「情報メディア演習」を追加。
- ・退職に伴い島袋梢助教を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、長谷川大輔助教の担当科目に「国際理解」を追加。
- ・教育効果に配慮し、市川尚助教の担当授業科目から「情報基礎」を削除。
- ・退職に伴い北川薫を削除。
- ・紀ノ岡浩美助教が講師に昇格。
- ・休職に伴い坂井利衣を削除。
- ・担当科目消滅に伴い小崎達介講師を削除。
- ・教育効果に配慮し内橋一恵講師の担当授業科目から「まなぶるときわびとⅡ」を削除。また、教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、Carol K. Dallos講師の担当授業科目に「英語B (Presentation Skills)」を追加。
- ・田中達也講師が兼任から兼任になり、教育内容を充実させるべく、同講師の担当科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、松本大祐講師の担当科目に「健康スポーツ科学Ⅱ」、「健康スポーツ科学Ⅲ」を追加。
- ・福井豊講師を採用。担当科目は、安全学。
- ・担当科目消滅に伴い柳敬晴講師を削除。
- ・担当科目消滅のため江上芳子講師を削除。
- ・授業科目消滅に伴い西岡伸記講師を削除。
- ・担当科目消滅にともない馬場栄二講師を削除。
- ・本田英理講師を採用し、担当授業科目に「安全学」を追加。
- ・担当科目消滅にともない足立了平講師を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、森永遠男講師の担当科目に「プロジェクトデザイン」を追加。
- ・担当科目消滅に伴い竹内雅規講師を削除。
- ・担当科目削除に伴い國友勝講師を削除。
- ・担当科目消滅に伴い新庄文明講師を削除。
- ・担当科目消滅に伴い宮田英和講師を削除。

【令和6年度】

- ・教育内容を充実させるべく、吉田幸恵教授の担当授業科目に「子どもの歯と健康」を追加。
また、教育効果に配慮し、吉田幸恵教授の担当授業科目から「学びの基礎」、「全身の健康と口腔科学」、「歯科医療と法律制度」、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「口腔保健特論Ⅱ」、「口腔保健特論Ⅲ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、福田昌代教授の担当授業科目に「健康教育法」、「口腔の構造と機能」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「応用臨床実習」、「健康教育法」、「発展臨床実習」、「地域口腔保健支援習」、「災害時の歯科衛生士の働き」、「卒業研究Ⅰ」、「口腔保健特論Ⅱ」、「口腔保健特論Ⅲ」、「卒業研究Ⅱ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、八木孝和教授の担当授業科目に「放射線治療技術学Ⅰ」、「インターンシップ実習」、「成育系歯科診療補助演習」、「放射線治療技術学Ⅰ」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「全身の健康と口腔科学」、「子どもの歯科学」、「応用臨床実習」、「発展臨床実習」、「審美・矯正歯科実習」、「災害時の歯科衛生士の働き」、「口腔保健特論Ⅰ」、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、森谷徳文教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」、「大学道場miniゼミB」、「研究方法論」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「歯理工学演習」、「薬理学」を削除。
- ・教育効果に配慮し、高橋由希子教授の担当授業科目から「応用臨床実習」、「歯周病管理実習」、「災害時の歯科衛生士の働き」、「卒業研究Ⅰ」、「口腔保健特論Ⅱ」、「卒業研究Ⅱ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、山城圭介教授の担当授業科目に「健康科学総論」、「国際保健医療活動Ⅰ」、「キャリアパスⅡ」、「IPW(多職種連携)論」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「応用臨床実習」、「発展臨床実習」、「歯科医療と法律制度」、「口腔保健特論Ⅰ」、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「口腔衛生学」、「医療英語Ⅱ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、江崎ひろみ教授の担当授業科目に「対人援助技術演習」、「対人援助論」、「歯科診療の補助演習」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「キャリアパスⅡ」、「キャリアパスⅢ」、「キャリアパスⅣ」、「発展臨床実習」、「口腔健康管理学実習Ⅱ(高齢者)」、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「大学道場miniゼミA」、「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく上原弘美准教授の授業科目に「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ、「放射線治療技術学Ⅰ」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「応用臨床実習」、「研究方法論」、「発展臨床実習」、「IPW(多職種連携)演習」、「歯科医療管理実習」、「卒業研究Ⅰ」、「口腔保健特論Ⅱ」、「卒業研究Ⅱ」、「歯科診療補助論」、「医療安全」を削除。
- ・教育効果に配慮し、澤田美佐緒講師の担当授業科目から「研究方法論」、「発展臨床実習」、「口腔健康管理実習Ⅱ(高齢者)」、「卒業研究Ⅰ」、「口腔保健特論Ⅱ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、破嵐幸枝講師の授業科目から「応用臨床実習」、「研究方法論」、「発展臨床実習」、「口腔健康管理実習Ⅰ(小児)」、「卒業研究Ⅰ」、「口腔保健特論Ⅱ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、中村美紀講師の授業科目に「キャリアパスⅠ」、「子どもの歯と健康」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「応用臨床実習」、「研究方法論」、「発展臨床実習」、「IPW(多職種連携)演習」、「歯科医療管理実習」、「卒業研究Ⅰ」、「口腔保健特論Ⅱ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、室崎友輔講師の担当授業科目に「防災教育実践」、「チーム学校論」、「施設運営・防災と危機管理」、「防災教育と災害援助」、「インターンシップ実習」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「研究方法論」、「災害時の歯科衛生士の働き」、「卒業研究Ⅰ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、宮澤絢子講師の授業科目に「歯科衛生士論Ⅱ」を追加。
- ・また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「応用臨床実習」、「発展臨床実習」、「研究方法論」、「口腔健康管理実習Ⅲ(障がい者)」、「卒業研究Ⅰ」、「健康教育の実践」、「口腔保健特論Ⅱ」、「口腔保健特論Ⅲ」、「医療英語Ⅱ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、伴仲謙欣助教の授業科目に「チーム学校論」、「教育社会学」、「防災教育実践」、「キャリアパスⅢ」、「キャリアパスⅣ」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「国際理解」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、氏橋貴子助教の授業科目に「歯科予防処置演習Ⅰ」、「歯科予防処置演習Ⅱ」、「キャリアパスⅡ」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「応用臨床実習」、「発展臨床実習」、「IPW(多職種連携)演習」、「口腔健康管理学実習Ⅲ(障がい者)」、「災害時の歯科衛生士の働き」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、水村 容子助教の授業科目に「国際理解」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「応用臨床実習」、「発展臨床実習」、「口腔健康管理実習Ⅰ(小児)」、「歯周病管理実習」を削除。
- ・退職に伴い浅枝麻夢を削除
- ・教育内容を充実させるべく、西保亜希助教の授業科目に「歯科診療補助論」、「口腔衛生管理演習」、「歯科診療の補助演習」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「生化学・栄養学」、「微生物学・免疫学」、「歯科予防処置演習Ⅰ」、「歯科予防処置演習Ⅱ」、「キャリアパスⅡ」、「応用臨床実習」、「キャリアパスⅢ」、「キャリアパスⅣ」、「発展臨床実習」、「審美・矯正歯科実習」、「災害時の歯科衛生士の働き」、「口腔保健特論Ⅰ」を削除。
- ・教育効果に配慮し坂本秀生教授の担当授業科目から「遺伝子と再生医療」を削除。
- ・退職に伴い柳倉匡文を削除
- ・教育内容を充実させるべく、米田孝司教授の授業科目に「科学技術論」を追加。
- ・教育効果に配慮し、松元英理子教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、新谷路子教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、大澤佳代教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育効果に配慮し、鈴木高史教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育効果に配慮し、伊藤洋志教授の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」、「人体のふしぎ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、伊藤洋志教授の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」、「人体のふしぎ」を削除。
- ・退職に伴い松田正文を削除。
- ・教育効果に配慮し、高久圭二教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
また、教育内容を充実させるべく、対間博之教授の授業科目に「人体のふしぎ」を追加。
- ・また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「IPW(多職種連携)論」を削除。
- ・教育効果に配慮し、大森雅人教授の担当授業科目から「情報メディア演習」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、中田尚美教授の授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育効果に配慮し、中西利恵教授の担当授業科目から「キャリアパスⅠ」を削除
- ・教育効果に配慮し、山田秀江教授の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」、「まなぶる」ときわびとⅡ、「大学道場miniゼミB」を削除
- ・教育内容を充実させるべく、浦みどり准教授の授業科目に「大学道場miniゼミB」、「国際理解」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、關雅幸准教授の授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育効果に配慮し、藤原桜准教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」、「国際理解」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、島内敦子教授の授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育効果に配慮し、立垣祐子准教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、笹井隆邦准教授の授業科目に「大学道場miniゼミA」、「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、近藤みづき准教授の授業科目に「国際理解」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、澁谷雪子講師の授業科目に「まなぶる」ときわびとⅠ」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく伊藤彰准教授の授業科目に「科学技術論」を追加。
- ・また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」、「情報メディア演習」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく大城亜水講師の授業科目に「情報メディア演習」を追加。
- ・退職に伴い杉浦弘隆を削除。
- ・教育内容を充実させるべく深川幹講師の授業科目に「情報メディア演習」、「情報基礎」を追加。
- ・また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく長谷川大輔助教の授業科目に「国際保健医療活動Ⅰ」を追加。
- ・また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅠ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく市川尚助教の授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。
- ・退職に伴い紀ノ岡浩美を削除。
- ・退職に伴い松岡真菜を削除。
- ・退職に伴い大槻古野美を削除。
- ・教育効果に配慮し、中野順子教授の担当授業科目から「国際理解」を削除。
- ・教育効果に配慮し、内橋 一恵講師の担当授業科目から「国際理解」を削除。
- ・教育内容を充実させるべくCarol K.Dalios講師の授業科目に「英語A c (Communicative English Advanced)」を追加。
- ・教育効果に配慮し、田中達也講師の担当授業科目から「情報基礎」、「情報メディア演習」を削除。
- ・教育効果に配慮し、松本 大祐講師の担当授業科目から「健康スポーツ科学Ⅰ」、「健康スポーツ科学Ⅱ」、「健康スポーツ科学Ⅲ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、福井 豊講師の担当授業科目から「安全学」を削除。
- ・教育効果に配慮し、高橋 千鶴講師の担当授業科目から「歯科医療と法律制度」を削除。
- ・教育効果に配慮し、山下 紗久佳講師の担当授業科目から「歯科医療と経済」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく村田 良子講師の授業科目に「国際保健医療活動Ⅱ」を追加。
- ・教育効果に配慮し、駒井 正講師の担当授業科目から「高齢者歯科学」を削除。
- ・教育効果に配慮し、北垣 志麻講師の担当授業科目から「障害者歯科学」を削除。
- ・教育効果に配慮しShiba Kumar Rai講師の担当授業科目から「国際保健医療活動Ⅱ」を削除。
- ・笠井 亮講師を採用。「現代社会と化学」を追加。
- ・山下 耕平講師を採用。「健康スポーツ科学Ⅰ」、「健康スポーツ科学Ⅱ」、「健康スポーツ科学Ⅲ」を追加。
- ・上山 繁講師を採用。「安全学」を追加。
- ・神前 圭吾講師を採用。「障害者歯科学」を追加。
- ・教育効果に配慮し、黒野利佐子教授の担当授業科目から「国際保健医療活動Ⅱ」を削除。

【令和7年度】

- ・教育内容を充実させるべく、吉田 幸恵教授の担当授業科目に「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「口腔保健特論Ⅲ」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、福田 昌代教授の担当授業科目に「健康教育法」「口腔の構造と機能」「健康教育の実践」「卒業研究Ⅰ」「口腔の構造と機能」「口腔保健特論Ⅱ」「口腔保健特論Ⅲ」「地域口腔保健支援実習」を追加。また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「早期臨地実習」「口腔衛生管理演習」「研究方法論」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、八木 孝和教授の担当授業科目に「全身の健康と口腔科学」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「口腔保健特論Ⅰ」「審美・矯正歯科実習」「応用臨地実習」「災害時の歯科衛生士の働き」「発展臨地実習」を追加。また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「人体の構造と機能」「早期臨地実習」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、森谷 徳文教授の担当授業科目に「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「口腔保健特論Ⅰ」「応用臨地実習」「発展臨地実習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、高橋 由希子教授の担当授業科目に「IPW（多職種連携）演習」「卒業研究Ⅰ」「口腔保健特論Ⅱ」「応用臨地実習」「早期臨地実習」「歯周病管理実習」「歯科予防処置論」「災害時の歯科衛生士の働き」「発展臨地実習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、山城 圭介教授の担当授業科目に「医療英語Ⅱ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「口腔保健特論Ⅰ」「応用臨地実習」「歯周病管理実習」「発展臨地実習」を追加。また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「基礎臨地実習」「健康科学総論」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、江崎 ひろみ教授の担当授業科目に「卒業研究Ⅰ」「基礎臨地実習」「応用臨地実習」「早期臨地実習」「発展臨地実習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、上原 弘美准教授の担当授業科目に「IPW（多職種連携）演習」「卒業研究Ⅰ」「口腔保健特論Ⅱ」「応用臨地実習」「放射線治療技術学Ⅰ」「歯科医療管理実習」「発展臨地実習」「研究方法論」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、澤田 美佐緒講師の担当授業科目に「卒業研究Ⅰ」「口腔健康管理実習Ⅱ（高齢者）」「口腔保健特論Ⅱ」「基礎臨地実習」「発展臨地実習」「研究方法論」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、破産 幸枝講師の担当授業科目に「卒業研究Ⅰ」「口腔健康管理実習Ⅰ（小児）」「口腔保健特論Ⅱ」「応用臨地実習」「発展臨地実習」「研究方法論」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、中村 美紀講師の担当授業科目に「卒業研究Ⅰ」「口腔健康管理実習Ⅲ（障がい者）」「口腔保健特論Ⅱ」「応用臨地実習」「発展臨地実習」「研究方法論」を追加。
- ・教育効果に配慮し、室崎友輔非常勤講師の担当授業科目から「防災教育と災害援助」「インターンシップ実習」「学びの基礎」「まなぶる」ときわびとⅠ」「まなぶる」ときわびとⅡ」「災害とまちづくり」「情報基礎」「情報メディア演習」「防災教育実践」「チーム学校論」「インターンシップ実習」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、宮澤 綱子講師の担当授業科目に「健康教育の実践」「卒業研究Ⅰ」「口腔保健特論Ⅱ」「応用臨地実習」「発展臨地実習」「研究方法論」を追加。
- ・伴仲 謙欣を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、氏橋 貴子助教の担当授業科目に「口腔保健特論Ⅱ」「応用臨地実習」「歯科理工学」「災害時の歯科衛生士の働き」「発展臨地実習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、水村 容子助教の担当授業科目に「口腔保健特論Ⅱ」「国際理解」「応用臨地実習」「災害時の歯科衛生士の働き」「発展臨地実習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、川野 亜希講師の担当授業科目に「卒業研究Ⅰ」「口腔保健特論Ⅲ」「応用臨地実習」「歯科診療補助論」「災害時の歯科衛生士の働き」「発展臨地実習」を追加。
- ・沖田 楓助教を採用。担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅠ」「まなぶる」ときわびとⅡ」「インターンシップ実習」「キャリアパスⅢ」「キャリアパスⅣ」「ライフステージ別口腔健康支援演習」「健康教育の実践」「健康教育法」「口腔衛生管理演習」「基礎臨地実習」「子どもの食と栄養」「応用臨地実習」「早期臨地実習」
- 「栄養指導」「歯科理工学演習」「歯科衛生士論Ⅱ」「発展臨地実習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、塩谷 英之教授の担当授業科目に「IPW（多職種連携）論」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、坂本 秀生教授の担当授業科目に「遺伝子と再生医療」を追加。また、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「国際保健医療活動Ⅱ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、布引 治教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、鈴木 高史教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、鈴木 高史教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・今井 方丈教授を削除。
- ・教育効果に配慮し、山崎 麻由美教授の担当授業科目から「英Ac（Communicative English Advanced）」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、中田 康夫教授の担当授業科目に「数理・データサイエンス（推測統計学）」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、黒野 利佐子准教授の担当授業科目に「人体のふしぎ」を追加。
- ・島内 敦子教授を削除。
- ・笹井 隆邦准教授を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、渋谷 雪子講師の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、渋谷 雪子講師の担当授業科目に「まなぶる」ときわびとⅡ」を追加。
- ・教育効果に配慮し、澤村 暢講師の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅡ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、伊藤 彰准教授の担当授業科目に「いのちと共生」を追加。
- ・尾崎 優子講師を削除。
- ・伊東 美智子講師を削除。
- ・野田部 恵講師を削除。
- ・江口 実希講師を削除。
- ・柳原 利佳子講師を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、深川 幹講師の担当授業科目に「人類と地球環境」「いのちと共生」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、深川 幹講師の担当授業科目に「人類と地球環境」「いのちと共生」を追加。
- ・教育効果に配慮し、長谷川 大輔講師の担当授業科目から「まなぶる」ときわびとⅡ」を削除。
- ・内橋 一恵講師を削除。
- ・神田 大輔講師を削除。
- ・千石 真理講師を削除。
- ・西 修講師を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、Shiba Kumar Rai講師の担当授業科目に「国際理解」「国際保健医療活動Ⅱ」を追加。
- ・笠井 亮講師を削除。
- ・神前 圭吾講師を削除。

(注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学・高専】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

- ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	1	5	5	17	0	8	1	5	3	17	0
(2)	0	(1)	(2)	(5)	0						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	1	5	3	17	0	8	1	5	3	17	0
[2]	[]	[]	[Δ2]	[]	[]	[2]	[]	[]	[Δ2]	[]	[]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

- ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
- ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{17} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{17} = \boxed{5.88} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	名簿・選任・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
					該 当 な し					
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	名簿・選任・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	浅枝 麻夢可	R5.3	必修	まなぶる*ときわびとⅠ	①	R5.3.31付け願いにより辞任（6）			
				必修	まなぶる*ときわびとⅡ	①				
				必修	ライフステージ別口腔健康支援演習	①				
				必修	口腔衛生管理演習	①				
				必修	基礎臨床実習	①				
				選択	子どもの歯と健康	①				
				必修	早期臨床実習	①				
2	講師	伴仲 謙欣	R7.3	必修	まなぶる*ときわびとⅠ	①	R7.3.31付け他学科への転籍（7）			
				必修	まなぶる*ときわびとⅡ	①				
				選択	インターンシップ実習	①				
				選択	田ヤリアパスⅢ	①				
				選択	田ヤリアパスⅣ	①				
				選択	地域との協働A	①				
				必修	学びの基礎	①				
				選択	安全学	①				
				選択	教育と人間	①				
				選択	現代社会学	①				
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	18	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
2	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	18	科目	計	0	科目

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健科学部 口腔保健学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該 当	な し

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p style="padding-left: 20px;">SD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p><令和6年度の実績></p> <p>第1回SD委員会（令和6年5月16日出席率100%）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p><令和6年度の実績></p> <p>第1回SD委員会議題 ①SD委員会の組織 ②2024年度活動計画 ③研修計画について ④学科内FDについて</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全教職員のための研修会 ・ 新任教職員のための研修会 ・ 自己点検・評価委員会との連携による授業評価等のPDCA <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年に数回、SD研修会を開催（令和6年度3回） ・ 学内及び学外有識者を迎えての研修会等を開催 ・ 学外において開催される研究会等へのSD委員の参加
--

(関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアムひょうご神戸におけるFD研修等)

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

<令和6年度の実績>

【第1回SD研修会】(新任教職員研修)

趣 旨：本学の見学の精神や沿革、教育理念を理解し、本学教職員として望ましい姿勢を培う。業務遂行に必要な関連部署の概念を理し、今後の教育・研究活動等に活用できるようにする。

出席率：100%

講演者：濱田道夫(学長)、中村忠司(理事長)、山下敦子(SD委員長)

【第2回SD研修会】(ハラスメントの概念と事例について)

趣 旨：ハラスメント問題に対する認識を深め、互いの人格と人権を尊重し、個々がハラスメントのない教育環境や就労環境の構築に努める。

出席率：100%

講演者：明石警察署長 警視正 植村琢也

【第3回SD研修会】(生涯にわたる心身の健康はこども期につくられる)

趣 旨：次世代人類に必要な育ちの環境を考える

出席率：100%

講演者：京都大学大学院教授 明和政子

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

毎回の研修会実施後、参加者を対象としたアンケート調査を実施。収集・分析したアンケート結果は学内Webサイトにて公開し、全教職員に対して周知することは勿論のこと、今後の授業改善等へと繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年実施。原則として全科目を対象とし、授業の最終回時に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生に対しては、前期分と後期分を分け、集計したものを「学生へのメッセージ」のデータとして一つに取りまとめ、Webサイトにて公開するとともに、事務局・図書館等に据え置くなど、学生がいつでも閲覧できるようにしている。また、教員に対しては、教育の質保証に繋げるべく集計結果を教員各人にフィードバックするとともに、年次報告書として取りまとめ、全教職員に配布するなど、情報公開に努めている。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

「該当なし」

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人玉田学園は明治41年、神戸市中山手通の地に平凡な市井の人々の善意と熱意で私立家政女学校として誕生した。昭和42年には、「学問と実践、研究と技術を直結することによって、すぐれた職業人、生活にすぐれた能力をもつ有為の人材を養成し、社会的、地域的要請に応えんとするものであること。」を建学の精神に掲げ、神戸常盤短期大学を創設した。その後、平成20年4月に保健科学部医療検査学科及び看護学科の1学部2学科という構成で四年制の神戸常盤大学を創設、さらに平成24年には、教育学部こども教育学科を設置した。開学以降、保健医療・教育の分野において「専門職業人」を養成する大学としてさまざまな分野で活躍できる人材を育成・輩出することにより、地域へ貢献することを広く社会から期待されている。その中で、令和2年4月、保健科学部に新たに診療放射線学科を開設した。これまで、兵庫県内には診療放射線技師養成大学がなく、専門学校のみであったが、文部科学省管轄の養成校としてより良い教育を施したく、当該学科を開設するに至った。当該学科は①社会貢献への意識を持ち、やさしさと倫理観を持った人材、②最新の知識、情報、技術を修得し真のエキスパートになれる人材、③本質を見抜く洞察力と研究的態度を備えた人材、④専門分野近傍の課題等も俯瞰できる力を有し、チーム医療の一翼を担う人材、⑤グローバルな視点で社会の多様なニーズに対応できる人間力のある人材、以上5点の養成する人材像を念頭に診療放射線技師を養成していく。学生の確保については、令和元年8月末の指定認可後、全学的に取り組んだ結果、4年間に亘り定員75名を充足することができ、併せて、専任教員も概ね計画どおり就任していることから、概ね順調に学科運営がなされている。この結果に甘んじることなく、今後も当該学科の教育理念、並びに養成する人材像等を踏まえ、診療放射線技師養成に鋭意邁進し、ひいては社会貢献へと繋げていきたい。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
・ 令和7年6月末 公表
- b 公表方法
・ 自己点検・評価報告書を、本学Webサイトにて公開。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・ 令和10年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

- また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
- なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]
- 《 a で「有」の場合 》
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]
- 《 a で公表「無」の場合 》
- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトにて公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。